
令和 6 年度 事業報告

恋ヶ窪ブロック

国分寺市立

第一・第二東恋ヶ窪学童保育所

第一日吉町学童保育所

第二・第三日吉町学童保育所

西恋ヶ窪学童保育所

(労働者協同組合ワーカーズ・センター事業団)

令和 7 年 5 月 31 日

目 次

1. 管理業務等の体制及び実施状況（管理業務及び自主事業）
2. 決算状況等及び施設の利用実績（決算収支状況、公の施設の利用実績（利用者数、利用率等））
3. 従事者育成に係る研修実施状況
4. 利用者意見及び自己評価（利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価）
5. 苦情対応に係る記録
6. 事業計画書に掲載した計画の実施状況
7. その他管理の実態を把握するために必要な事項等

1. 管理業務等の体制及び実施状況（管理業務及び自主事業）

（1）管理業務等の体制（別紙【資料1】参照）

第一・第二東恋ヶ窪学童保育所・・・責任者1名、常勤者3名

第一日吉町学童保育所・・・責任者1名、常勤者2名

第二・第三日吉町学童保育所・・・責任者2名、常勤者2名

西恋ヶ窪学童保育所・・・責任者1名、常勤者3名

（2）学童保育所の運営

①保護者会

年2回実施した。日々の子どもたちの様子を伝えるとともに、保護者と情報交換を行った。

②学童だより

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一日吉町学童保育所、第二・第三日吉町学童保育所、西恋ヶ窪学童保育所】

令和6年4月から令和7年3月（7月8月は合併号）の計11回発行した。

③保護者の会との連携

【第一日吉町学童保育所】

今年度は保護者の会の方々から学童保育所との関係を深めたいというご提案をいただき、自主事業で開催している「4学童まつり」に参加していただいた。どんなお店をやるのが良いかなどの相談を受けて、話し合いながら当日はスライム作りのお店を開催していただいた。子どもたちのために何かできることをお互い模索しながらお祭りを作り上げることができた。その中で保護者の方たちと交流を図ることで学童保育所のさらなる運営理解に繋げるイベントにすることができた。

次年度へ向けても保護者の会役員の方より保護者の会の案内配布の依頼を受けて、学童保育所で配布を行った。役員の保護者がお迎えの方だったため、役員の方と学童保育所との連絡は密にとることができた。また、今年度も保護者の会よりクリスマスプレゼントとしておもちゃと新入生に向けた絵本を学童保育所へ寄贈していただいた。

【第二・第三日吉町学童保育所】

保護者の会役員の方より依頼されて、おたよりを受け取り、配布をした。また、保護者の会よりクリスマスプレゼントとしておもちゃや児童書を学童保育所へいただいた。

「4学童まつり」の際は、保護者の会有志で出店していただいた。

【西恋ヶ窪学童保育所】

今年度より保護者の会と学童保育所との交流は行われなかった。

※「保護者会」と「保護者の会」は各々違い、「保護者会」は年に数回学童保育所主催で日々の様子などを伝える場である。「保護者の会」は保護者の皆様が運営しているものである。

(3) 入所児童の育成指導（別紙【資料2】参照）

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所】

① 食育活動

毎年、数珠やひょうたんを植えて工作をしたり、ミニトマトやいちごなどを植えて持って帰ってもらったりしていたが、新校舎建て替えに伴い今年度は、見て楽しめるお花を植えて目で楽しんだ。

『昼食提供』

三季休業中の数日分の昼食を学童保育所で購入したお弁当や、ランチボックスの日として学童保育所の職員がプルコギ肉野菜炒め丼を作り提供した。友だちみんなと同じものを食べる楽しさや、保護者の負担を軽減しようこの昼食提供を実施した。お弁当の購入に当たっては、地域のお米屋さんを利用している。また、冬からは配食サービスを実施した。

7月：からあげ弁当、8月：からあげ弁当、ランチボックスの日（手作り昼食）

『手作りおやつ』

夏休みに手作りパフェを実施した。コロナ禍になり子どもたちが調理するということはここ何年かしてこなかったが、今年度は希望する3年生と一緒にお手伝いをしてもらった。職員がゼリーを作り、3年生には缶詰のフルーツを順番にカットしてもらったり配膳をしてもらった。最後にアイスをトッピングし、1、2年生も一緒にみんなで食べた。3年生はもちろん他の子たちも「美味しい」と言って楽しそうに食べていた。冬休みには豚汁作りを行った。その際も3年生の希望者を募り、当日は人参、大根、長ねぎを切ってもらった。普段やっていて上手な子もいれば不慣れの子もいたが、みんな一生懸命やっていた。おやつでは豚汁と一緒に焼きおにぎりも提供したが、「もっと食べたい」という声が上がった。本来なら秋にしいたけを収穫する予定だったので豚汁に入れたかったが、今年度は収穫が遅かったこともあり、3月に職員がスープを作っておやつに提供を行った。

②行事・企画

『新入生歓迎会』

職員が一人ひとり名前を呼び、新入生に返事をしてもらい立ち上がってもらった。みんなに顔を見せて、2年生以上からのプレゼント（手作りのプラ板）を代表の子が受け取り、みんなで歌を歌った。プレゼントは降所前に全員へ渡した。

『七夕飾り制作』

七夕の少し前から紙芝居の読み聞かせをした。また、折り紙で飾りを作り一人ひとりが願い事を書いた。今年度も地域の方から竹をいただいて学童保育所の玄関に飾り、短冊は七夕の前には外して各自持って帰った。

『大掃除』

学期ごとに行った。各自のロッカーを掃除した後に、それぞれの担当に分かれて掃除をした。きれいに拭くだけではなくおもちゃを直す姿もあり、みんな一生懸命取り組んでいた。また来年度は新しい施設になるため、最後の大掃除では掲示物も剥がした。その光景を見て、施設に対して寂しさを感じる子もいた。

『夏休み工作（ステンシルでエコバック制作）』

午前中に2回に分け全員が制作した。一人ひとりが好きな型を選んで、好きな色の絵の具を使ってエコバッグにステンシルで装飾した。

絵の具には無い色をと2種類の絵具を混ぜ、色々な色を作ったりグラデーションを付けたりし、みんな違う個性的なオリジナルエコバッグが完成し、子どもたちはとても嬉しそうに持ち帰っていた。次の日には制作したオリジナルエコバッグを使用している子もいた。

『縁日』

もぐらたたきや射的、スーパーボールすくいなど7種類のお店を合同班で担当し、「みんなで力を合わせて楽しい縁日にしよう」をテーマに自分たちで選んだお店の準備を行った。看板やポスターからお店のルール決めまでみんなで話し合いをしながら進めた。当日は体育館をお借りし店番もみんなですぐに役割分担をして協力しながら楽しめた。

『敬老の日工作』

敬老の日に向けてハガキにマーブリングを行った。

はじめは難しいと感じる子もいたが、やってみると簡単に綺麗に出来るので楽しんで取り組んでいた。色は思い思いに選び素敵な作品が出来上がった。

『ハロウィン工作』

ハロウィン工作では、かわいい仮面や子どもたちの個性が光るオリジナルマント、お菓子を入れるカボチャの手さげバックを制作した。

『ハロウィン』

おやつではハロウィンパッケージのお菓子と室内を薄暗くしてライトアップして行った。いつもとは違う空間に子どもたちは少し興奮気味だった。その後、謎解きゲームを班で行い、最後はみんなですべて「トリックオアトリート」と言って、特別にチョコレートを配った。

『勤労感謝の日工作（マグネット制作）』

勤労感謝の日とはどのような日なのかとみんなで考えるところから始め、毎日頑張っている保護者の皆さんや、私たちの生活を支えてくださっている人々へ感謝する日であることをお話しした。その後は、保護者への感謝を込めて、色画用紙にマジックや色鉛筆で絵やメッセージを書いた。もっとメッセージを書きたい子には別にメッセージカードを渡し、プレゼントと一緒に添えた。

『クリスマス工作』

クリスマス工作では段ボールや厚紙をドーナツ型にカットしたものに、毛糸を巻き付けそれにビーズやモールで装飾をしてリースを作った。

『クリスマス会』

今年もクリスマス会は、体育館で行った。有志で募った出し物では歌やダンス、クイズを披露してくれた。全体でのレクリエーションではサンタ鬼を行った。みんなで「あわてんぼうのサンタクロ

ス」を歌いとても盛り上がった。最後にはトナカイに扮した子どもたちがサンタさんを連れてきてくれ、プレゼントを持ってきてくれて大盛り上がりだった。おやつは子どもたちからリクエストがあったチキンにし、ハロウィンで好評だったライトをクリスマスカラーにして食べた。

『伝承遊び』

凧作りをし、その後に校庭で凧あげを楽しんだ。高く舞い上がった凧を見上げ「すごい！上がった！」と笑顔を見せてくれた。それ以外にも、巨大な福笑いやかると、坊主めくりをして伝承遊びに触れた。また、自由遊びの時間には羽子板やコマも出し楽しんだ。

『節分』

事前に鬼の顔の形をした紙に「イライラ鬼」や「泣き虫鬼」など、自分の心の中にいる鬼を書いてもらった。当日は、紙芝居を読んだ後に、小鬼に扮した子どもたちが登場し、みんなでエアー豆まきをして、鬼を退治した。その後、西南西の方向を向いて、恵方巻を食べた。今回は豆の代わりにボーロを出したが、珍しかったのか好評だった。

『卒所制作』

卒所生はオリジナルのカレンダーを制作した。好きな月を選んでもらい、季節に合った絵を描いた。来年度は第一と第二、第三になるため3つのオリジナルカレンダーが完成された。また、在所生は卒所生にオリジナルラック（小物入れ）を制作した。

『新入生へのプレゼント作り』

次年度の新入生に向けてプラバンに丁寧に絵を描き写し、心を込めてプレゼント作りを行った。

『ありがとうの会』

1年間のありがとうの気持ちを込めて「ありがとうの会」を行った。卒所する三年生には胸にリボンをつけてもらい、3年生は一人ずつみんなの前で3年間の思い出や1、2年生に向けてメッセージを発表した。有志で手品や歌を披露して会を盛り上げてくれた。最後は3年生と1、2年生で歌を歌った。

『誕生会』

毎月その月の誕生児をみんなでお祝いした。司会、ピアノを毎月募集し、当日までに練習して進めてくれた。また、レクリエーションも毎月行った。

『避難訓練』

5月：不審者想定 7月：地震想定 9月：火災想定 12月：地震想定

(11月に実施予定でしたが、職員体制の関係で12月に延期) 1月：火災想定 3月：不審者想定

【第一日吉町学童保育所】

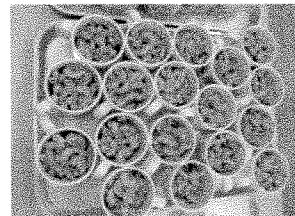
①食育活動

『手作りおやつ』

上述の昼食時に提供した切り干し大根の他、間食時に学童保育所で調理した食事を提供した企画があり、夏休みの期間中に行った。提供したのは「マカロニきなこ」で、食事ともおやつともとれる不思議な食感に子どもたちも面白がっており、食育の一試みとして良い学びを与えられた。

○手作りおやつ 8月

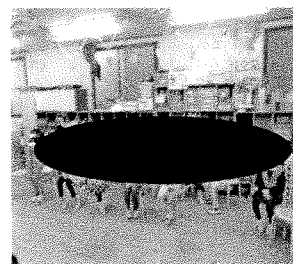
○昼食提供 3月



②行事・企画

『新入生歓迎会』

1年生が、事前に行った自己紹介カードを元に1人ずつ自己紹介をし、2、3年生が作ったメッセージ付きの折り紙のメダルをプレゼントされた。2、3年生からは「おめでとう」、1年生からは「ありがとう」というやりとりが何度も聞こえた。プレゼントのお返しとして、例年1年生から練習していた合唱の披露もあるが、今年度は更に2、3年生からも簡易的な自己紹介と共に合唱が1年生へと贈られた。こうして挨拶をし、歓迎を受けることで、1年生は改めて学童保育所の仲間となったことを実感した。



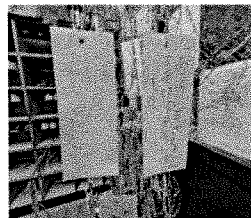
『子ども会議』

新年度に入り、改めて学童保育所の生活を確認した。育成室に掲示する標語を作成するため、班ごとに相談してもらい、書き出してもらった。今年度も促した職員が驚くような標語が作られ、子どもたちの成長と着想に目を細めた。貼りだす標語は子どもたちに制作してもらい、1年間の過ごし方の目標を自分たちの手で書くことで意識できるようにした。



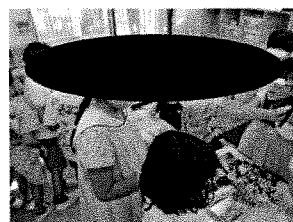
『七夕飾り制作』

地域の方からいただいた笹を玄関に据え、それに吊るす七夕飾りを製作する工作。また、七夕の節句に因み、短冊に願いごとを書いて共に吊るした。飾りは折り紙、切り紙等、事前に職員が用意したもの、自分で作成したものと、バラエティに富んだものがつけられた。短冊には思い思いの願いごとが書き込まれ、子どもたちの思いもかけない壮大な祈りに驚かされた。



『買い物おやつ』

「お店屋さん」と「お客さん」に分かれ、手作りのコインを使い、限られた資金の中で好きなおやつを選ぶという行事。擬似的な売買を楽しく学ぶとともに、普段あまり提供しないようなおやつに触れさせたいという狙いもある。6月、9月、2月の計3回開催した。



『夏休み工作』

猛暑を避けて室内で過ごす子どもたちに、工作を提供した。今回は3年生のリクエストにより、クリアファイルを材料に風鈴を作った。クリアファイルの涼しげな色合いは風鈴に好適であり、短冊部分は鈴やビーズなどで自由にデコレーションさせることで創作意欲も与えられた。様々な色のクリアファイルを使う子、敢えて1色のクリアファイルでまとめる子など、同じ材料を用意されても、子どもたちの作る作品にはそれぞれの個性が光っていた。



『シアターデイ』

育成室を映画館に見立てて、映画のDVDを鑑賞する行事。おやつにポップコーンやジュースなども用意して、会場に映画館を再現することに腐心した。その甲斐あって、子どもたちは映画館の雰囲気を存分に楽しみながら、映画に引き込まれていた。



『縁日』

第二・第三日吉町学童保育所との初めての合同開催となった、学童保育所の夏祭り『縁日』。合同開催ということで、今年度は第五小学校の体育館のみを会場として開催した。前年度と同じく、「おぼけやしき」「くじ引き屋さん」「射的」「ヨーヨー釣り」「スーパーボール・キラキラすくい」を出店。子どもたちの内、有志が所属学童保育所ごとに交代で店番を務め、これまでに経験のない大勢の来客に翻弄されながらも見事に接客をしていた。看板や内装、各店で使用する物品などは、子どもたち全員が協力して作成したものであり、学年を問わず大勢で協力して目標を達成する楽しさと大変さを子どもたちに経験させることができた。



『ウォーターフェス』

夏休みの最後に、第二・第三日吉町学童保育所と合同で、大規模な水遊びをする企画だったが、天候に恵まれず中止となった。代わりにこの日は、第五小学校の体育館を借用して、ドッジボール大会を開催した。

『敬老の日に寄せて』

敬老の日に寄せて、子どもたちが祖父母等に贈ることを想定した工作。今年度はフクロウ型のお守り「ふくまもり」を作った。また、例年通り作品に添えるメッセージカードにも同時に記入した。簡単なが可愛い「ふくまもり」は、1人2つと言う職員の想定を越えて「自分用にしたい」「(敬老の日を待たずに)すぐ持ち帰りたい」との声が出る等、人気を博した。子どもたちは「お祖父ちゃんには、この色かな」「お祖母ちゃん、こういう色が好き」などと言いながら、楽しく「ふくまもり」を作っていた。



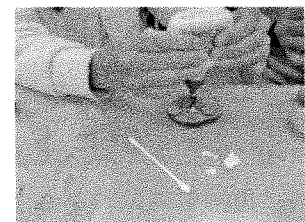
『ハロウィンパーティー』

ハロウィンに因んだ仮装の衣装を制作する工作と、その仮装を着て行う、ハロウィンの時期に催すお楽しみ会の一連の行事。黒や紫をはじめとした色とりどりのカラーポリ袋に、折り紙の飾りやペイントを思い思いに施して、おばけの仮装を用意した。今年度は育成室のトイレ工事のため、第五小学校の教室を借用して保育していた期間中だったので、例年よりもやや不自由な制作だったが、作られた仮装には子どもたちの個性が光り、帽子や猫耳等、小道具作りにも熱が入った。本番のハロウィンパーティーは、これも初めて第二・第三学童保育所と合同で、第五小学校の体育館で催された。個性豊かな衣装に身を包んだ子どもたちは、恒例の「目玉運びスプーンリレー」を始め、所属学童保育所の垣根を越えた交流を楽しんでいた。



『勤労感謝の日に寄せて』

勤労感謝の日に寄せて、子どもたちが保護者等へ贈ることを想定した工作。今年度も地域の方から木材を提供していただき、木工作を行った。今年度は、木板とミニチュア人形を使った木製ブローチと言う変わり種。目新しい工作に、子どもたちも様々にアイデアを考案して試行錯誤していた。作品に添えるメッセージカードも書き込み、普段伝えられない思いをこめて制作に励んだ。



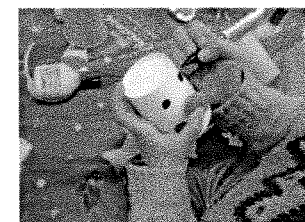
『ダンスイベント』

第二・第三日吉町学童保育所が主催する、毎月開催のダンス教室。11月より会場に体育館を借用し、第一日吉町学童保育所の子どもたちも参加できるようになった。参加希望者を募り、11月以降は毎月ダンスイベントへ出かけている。参加した子どもたちは、楽しく身体を動かして、課題の上達を喜んでいた。



『クリスマス工作』

クリスマスに因んだ工作。今年度は紙コップで「サンタクロース」と「トナカイ」を象ったオーナメントを作った。色々な表情のサンタとトナカイが次々と作られ、育成室の天井に並べて吊るされて、冬休みへと向かう学童保育所を彩った。



『クリスマス会』

子どもたちが毎年楽しみにしているクリスマス会だが、これも初めて第二・第三日吉町学童保育所との合同開催と言うことで、例年とは大幅にプログラムを変えて催された。その中で、例年の企画からオミットされた部分も多かったが、なんとか子どもたちの楽しみにしていた要素を残そうと、幾つかの代替案を講じた。本番である終業式の日放課後には、クリスマス会は、第二・第三学童保育所と合同で第五小学校の体育館を借用して行う「第一部」と、育成室に帰還して第一日吉町学童保育所のみで行う「第二部」に分けて開催された。例年の雰囲気を残しつつ



も、第二・第三学童保育所も含めた全員でのレクリエーションゲーム等、今までにないクリスマス会となった。

『大掃除』

玄関と下駄箱、ロッカー、本棚、おもちゃ棚の担当に分かれ、年末の大掃除を行った。特に、クリスマスプレゼント等で図書や遊具の増えた本棚やおもちゃ棚は、整理も含めての掃除となり、かなり大がかりなものとなった。みな積極的に取り組んでおり、自分の担当が終わった後、他の場所の掃除を手伝ったり、率先して床掃除をしたりする子もいた。



『伝承遊びの時間』

年明けから2ヶ月ほどの間に例年設けられている、こま、けん玉、かるた、おはじき、お手玉、あやとり等、昔ながらの遊びに興じる時間。15分～20分ほどの時間を毎日設定し、継続して伝承遊びに触れる環境を整えた。普段はあまりこれらの遊びに親しんでいなかった1年生たちも、この機会に積極的に取り組むようになった。こま、けん玉、あやとりの検定も行われ、優秀者には表彰もされるとあって、今年度も子どもたちは競って取り組んでいた。



『節分』

節分に因んだ行事。立てかけた板に張り付けた鬼の絵に向かって、殻付きの落花生を投げて豆まきをするのが恒例だが、今年度も手作りの鬼のお面を被った子どもたちと職員が参加した。落花生の価格高騰もあり、少ない落花生をやり繰りしてなかなか忙しかったが、なんとか全員が豆まきを楽しむことができた。おやつには、細巻きと個包装の福豆を食べて、1年の健康を願った。

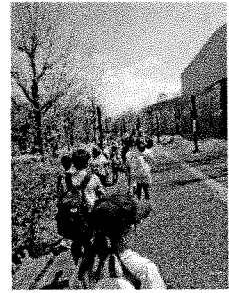


『卒所制作』

卒所生の記念制作として、自分の名前を打ち込み、好きな色を塗ったレザータグを制作した。職員からの卒所おめでとうのメッセージカードとともに、卒所生を送る会でプレゼントした。また、卒所生が力を合わせて作った次年度のカレンダーと学童保育所へ残る在所生に向けたメッセージファイルは、同じく卒所生を送る会において、在所生へ贈呈された。手作りのカレンダーは歴代のものと同じく、次の1年間、学童保育所の育成室を飾り、その道標となる。

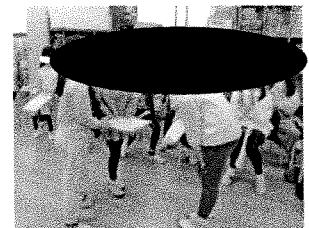
『所外保育』

年度末には、前年度は行えなかった所外保育に出かけた。空模様が心配だったが、学童保育所から武蔵国分寺公園に向かうまでの間にみるみる天候が回復し、公園の芝生も良いコンディションとなって、週明けに卒所していく3年生を祝福しているかのような感じだった。公園に着き、みんなで「しっぽ取りゲーム」をした後は、自由に遊んだり、レジャーシートを敷いてのんびりしたりと、みな思い思いに過ごしていた。遊びの選択肢自体は普段よりは狭くなるが、やはりいつもとは違う開けたロケーションで過ごすのは、子どもたちにとって得難い体験となったようだ。



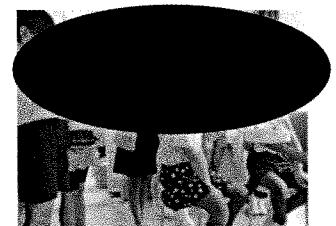
『卒所生を送る会』

今年度の学童保育所の中心となって活躍してくれた、3年生の締めくくりとなる送別会。記念贈呈品は、卒所生が作った卒所制作のネームタグと職員全員からのお祝いのメッセージカード。卒所生からは、1、2年生に向けたメッセージと、カレンダーがプレゼントされ、さらに『365日の紙飛行機』の合唱と手話の披露があった。1、2年生からは、お返しとして『ありがとうの花』の合唱が3年生に贈られた。その他、3年生を中心に、この日のために練習してきた得意技の発表もした。また、退職する職員にも、子どもたちからありがとうのメッセージが贈られた。最後のおやつは、パンケーキにクリームやフルーツ等を自由にトッピングして自分で飾り付けたおやつを食べながら、3年生の最後の学童生活に名残を惜しんでいた。



『誕生会』

誕生会は、夏休みも含めて毎月開催している。始めはセレモニーとして、誕生月の子たちへのインタビューやプレゼント贈呈で成長を祝い、次にレクリエーションゲームを行う。司会を始め、子どもたちが活躍する行事でもある。レクリエーションゲームでは異学年協力活動为目标としており、班対抗で誕生会の「特別なおやつ」を選ぶ順番を賭けた大会となることも多い。毎月担当の職員が様々な趣向を凝らし、楽しい誕生会を演出している。



『避難訓練』

5月	火災想定	7月	地震想定	9月	不審者想定（防犯訓練）
11月	火災想定	1月	地震想定	3月	不審者想定（防犯訓練）

【第二・第三日吉町学童保育所】

①食育活動

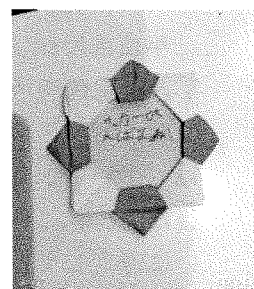
『昼食提供』

令和6年度4月から三季休業中の昼食提供を開始した。実施する中で、現金の取り扱い等に課題があり、より保護者や職員の負担を軽減させるため、冬休みからは、仲介業者とお弁当業者を変更する等行った。職員による昼食提供は実施していない。

②行事・企画

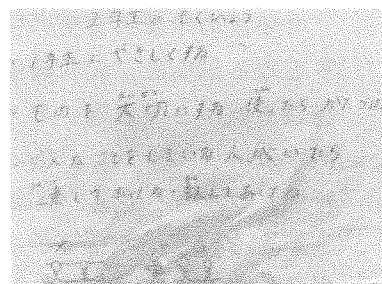
『1年生を迎える会』

1階の育成室に全員集まり会を行った。1年生は事前に行った自己紹介カードをもとに1人ずつ自己紹介をし、緊張しながらも大きな声で発表でき素晴らしかった。2、3年生は発表を終えた1年生にメッセージ付きの折り紙のメダルを『おめでとう!』と言いながらプレゼント。1年生は『ありがとう!』と言いながら嬉しそうに首にかけてもらっていた。子どもたちの交流する姿はとても微笑ましかった。



『こども会議』

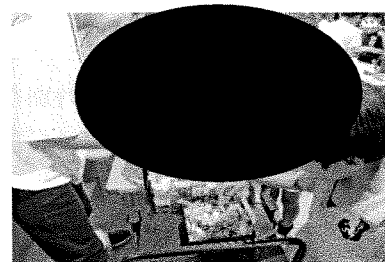
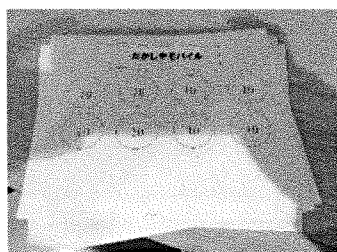
登所時間もまちまちで人数も多いため、学年ごとで実施した。子どもたちが考えやすいようにアンケート用紙を配布。「今の学童は楽しいか楽しくないか」に○をつけ、その理由を書いてもらった。そのアンケートを基に『みんなの学童を楽しくするために目標をたてよう!』という議題で、自分は学童や友だちのために何ができるかをみんなと考え書いてもらった。1年生は少々難しいかと思われたが、ほとんどの子が自分の意見や気持ちを書いていたのには感心した。2年生も真剣に議題に取り組み、自分の意見や気持ちを書いていた。3年生は司会者を決めて進行し、積極的に意見交換できた。



『だがしや』

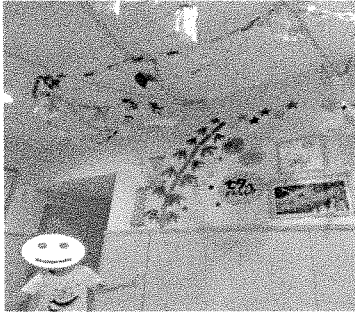
子どもたちが楽しみにしている行事のひとつである。駄菓子を中心に普段のおやつも加えて提供。各自80円分のモバイルカードを持ち欲しいお菓子を購入したら、使用金額分のスタンプを押してもらう。擬似的な売買を楽しく学んでもらうとともに、普段あまり提供しないようなおやつに触れさせたいと言う狙いもあった。

5月より毎月開催した。 計11回実施。



『七夕飾り制作』

お花紙を使い吹き流しを作り、短冊に願いを書いて、地域の方に頂いた笹に飾り付けをした。工作が好きな子が多く、和飾りも作成し、天井にも飾るなど華やかな七夕飾りになった。また、担当職員が壁面に七夕飾りを作成、七夕はどんな日かわかるお話を貼るなど工夫を凝らし、子どもも職員も七夕を楽しめた。



『夏休み工作』

ペットボトルキャップを土台にして毛糸を巻き帽子の形にして、ビーズなどで飾り付けをした。みんな同じ材料を使用しているが、同じものは一つとなく、個性溢れる帽子がたくさんできた。



『縁日』

今年度は第一日吉町学童保育所と第五小学校の体育館で合同の「縁日」を行った。今回、「お化け屋敷」、「ヨーヨー釣り」、「スーパーボール・キラキラすくい」、「射的」、「くじ引き」の5店舗を出店した。大きな怪我もなく、第二・第三日吉町学童保育所の子どもたちにとっては、初めての大きい規模での縁日を楽しめたと思う。



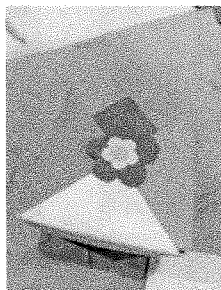
『シアターデイ』

1階育成室でDVDを鑑賞する行事で、8月中に週に1回の上映を設定したが、子どもたちから毎日観たいという声があり、結果毎日鑑賞した。育成室に御座を敷き、子どもたちはリラックスして楽しんでいた。DVDを観ない子は、2階育成室で遊ぶようにした。



『敬老の日に寄せて』

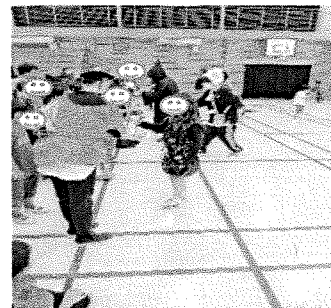
今年度は「ペン・メガネ入れ」を作った。画用紙を使い、箱型に折り、シールやマスキングテープで飾り付けをした。用意したメッセージカードにはそれぞれの思いを色々と書いてくれていた。



『ハロウィンパーティー』

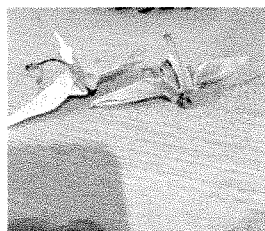
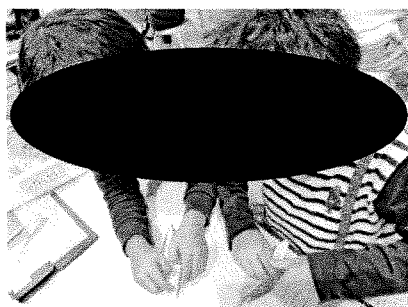
ハロウィン工作としてカラーポリ袋で仮装衣装を制作した。

黒や紫をはじめとした色とりどりのカラーポリ袋に、折り紙の飾りやペイントを思い思いに施してお化けの仮装をした。今年度は第一日吉町学童保育所と合同で行った。イベントのオープニングではみんなでダンスを踊り、第一日吉町学童保育所との混合チームで「目玉送り競争」を行った。第一日吉町学童保育所の子と一緒にイベントができたことにみんな大喜びだった。



『勤労感謝の日に寄せて』

今年度は、「折り鶴ストラップ」にメッセージカードをつけたものを制作した。参加した子の中には折り紙が苦手な子や、折り鶴を作ったことのない子もいたが、完成を目指し、一生懸命に取り組んでいた。作品とともにメッセージカードを付けて普段伝えられない思いをこめて制作に励んでいた。



『クリスマス工作』

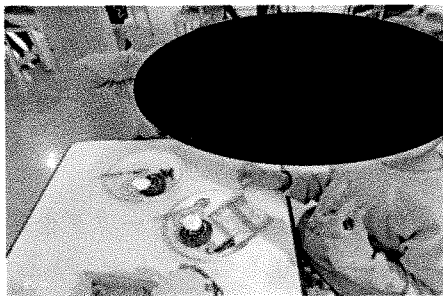
今年度は台紙や枝木を組み合わせ毛糸やビーズ、どんぐりなどを飾るオーナメントを制作した。提供された材料を上手に使い、個性豊かなオーナメントがたくさんできた。



『クリスマスお楽しみ会』

体育館をお借りして第一日吉町学童保育所と合同で行った。「猛獣狩りに行こうよ」と「フラフープ送り競争」の2種類のゲームと、サンタに扮した職員が登場し、寸劇も行った。子どもたちにとっては初めての合同のクリスマス会だったので、大いに盛り上がって楽しんでいた。

おやつは、各自でロールケーキにトッピングをして自分だけのオリジナルケーキを食べ、楽しく過ごした。



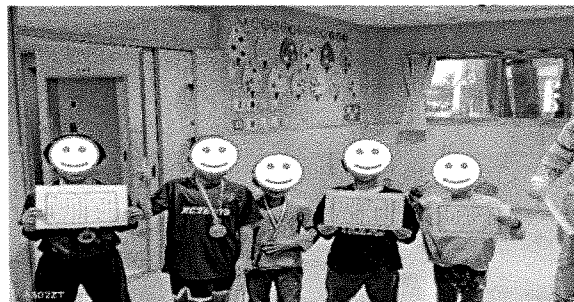
『大掃除』

当日の登所児童が少なく、どちらかの保育室だけをみんなで大掃除をするかなども考えたが、学年で分担し、自分の所属する保育室の大掃除を行った。いざ、大掃除が始まるとどの子も積極的に自分の担当場所のお掃除をし、他の子の手伝いをする子もいて頑張って掃除に取り組めた。



『伝承遊び』

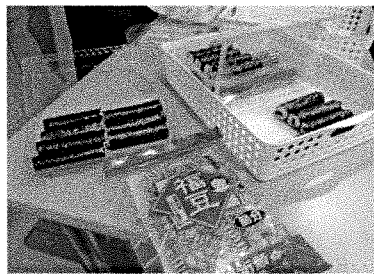
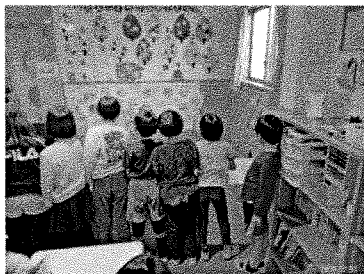
年明けから2か月ほど、おやつ後の15分間を練習時間に設定し、3月の表彰式に向けて多くの子が練習に励んでいた。検定科目は「こま」と「けん玉」としたが、あやとり名人講師の先生がいらした日は検定種目ではない「あやとり」に取り組む子もいた。今回の「伝承遊び」をきっかけにして、その後の室内遊びの時間にも「こま」や「けん玉」で遊ぶ子が多くいる。子どもの中には、お家でこま台を作ってもらい、練習している子もいるようで、「こま」は人気の遊びになった。



『節分』

事前に鬼のお面の塗り絵を子どもたちにしてもらい、節分行事に興味を持てるようにした。当日は、2階の育成室で学年別で6人ずつ並んでもらい、壁に貼った鬼のお面や的入れのように箱の中に落花生を投げ入れるようにした。今回、初めての豆まきに子どもたちは鬼が来るのかとドキドキしている子もいた。

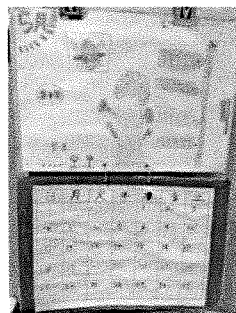
おやつには、吉方位を紙に書いて貼った方位に向かい、細巻きと個包装の福豆を食べて、一年の健康を願った。



『卒所制作』

卒所生の記念制作として、自分の名前を打ち込み好きな色を塗ったレザータグを制作した。職員からの卒所おめでとうのメッセージカードとともに、卒所生を送る会でプレゼントした。

卒所生からは在所生のために力を合わせて作った次年度のカレンダーをプレゼントしてもらった。



『卒所生を送る会』

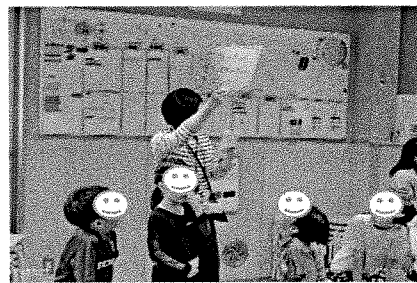
2年生の司会進行で子ども主体の出し物を行った。6組のグループが、「こま」、「ピンポン」、「身体表現」、「ダンス」、「手品」、「合奏」などを披露してくれた。時間のない中で、自主的に練習し取り組んだ出し物は、完成度の高い発表となった。

おやつの時間は、1、2年生は1階育成室で、3年生は2階育成室で自分たちがリクエストしたおやつを食べて、最後の学童生活に名残を惜しんでいた。



『誕生会』

毎月、誕生児の子どもたちのリクエストでケーキやアイス、ドーナツ等色々な工夫をして誕生児の子が喜んでもらえるおやつになるように工夫をしている。誕生会でのレクリエーションゲームでは誕生児に関する三択クイズやなぞなぞを行った。



『避難訓練』

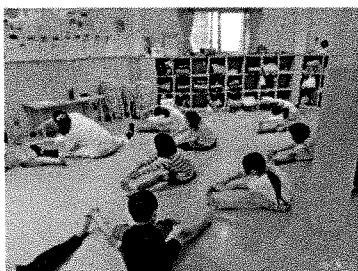
5月 地震想定 7月 不審者想定 9月 火災想定
11月 地震想定 1月 火災想定 3月 不審者想定



『ダンスイベント』

保護者や子どもからの要望があり、ダンスイベントを再開した。ダンス講師は経験のある学童職員が担当した。子どもたちに人気のある曲やイベントに合わせた曲を使用し、ダンスをすることで「身体で表現する楽しさ」を体験してもらう目的で行った。

10月より毎月開催。計6回実施。



【西恋ヶ窪学童保育所】

①食育活動

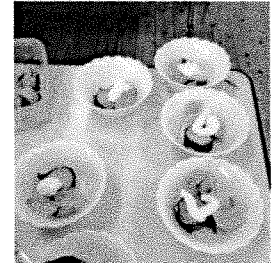
『昼食提供』

学童保育所で夏休みに手作りのカレーを提供した。また、お友だちと同じものを食べる楽しみも感じてもらった。



『手作りおやつ』

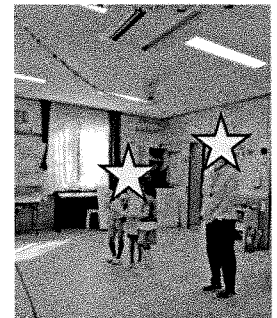
いも掘りにいって取ってきたさつまいもをパフェにして提供した。各自のテーブルに置き自分で盛り付けて好みの量や物をトッピングできるようにした。



②行事・企画

『1年生を迎える会』

4月18日に実施した。1年生は前に出て自己紹介をしてもらった。その後上級生から1年生メダルをプレゼントした。1年生は緊張している様子もあったが、大きい声で発表することができた。「1年生になったら」も上手に歌うことができた。



『七夕飾り制作』

小学校の敷地内の竹をいただき、学童保育所の入口に設置した。子どもたちは思い思いの願い事を書いたり、七夕飾りを行った。



『シアターデイ』

体をゆっくりと休めるために夏休み中にほぼ毎日実施した。育成室の壁にスクリーンを貼り、ミニ映画館を作りDVD鑑賞をした。子どもたちは毎回何が観られるのか楽しみにしている様子があった。

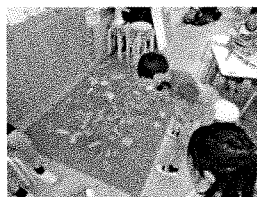
『センサリーボトル（夏休み工作）』

ペットボトルに精製水と洗濯のりを混ぜたものを入れそこに好きなビーズや貝殻などを入れて夏らしいセンサリーボトルを作った。簡単に完成した子でも満足感をえられ、お迎えに来た保護者からもとても綺麗と好評を博した。



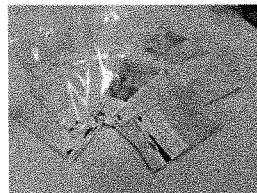
『縁日』

8月上旬から準備を始めた。スーパーボールすくい、射的A・B、くじ引き、もぐらたたき、わなげ、さかなつり、なぞなぞやの8ブースを催した。当日登所した子どもたちの中から有志を募ってお手伝いしてもらった。お店を回る子も、シフト制でお手伝いしてくれた子も楽しそうな様子だった。獲得した景品を嬉しそうに職員に報告して見せてくれたり、子どもたちの表情などから窺えた。



『敬老の日工作』

画用紙をハガキ大に切りそこにマーブリングをしてオリジナルのはがき作成をした。それぞれの気持ちを込めたハガキが完成した。持ち帰った後にはそれぞれメッセージを書いてもらうように促した。初めてマーブリングに挑戦する子も周りの経験者が教えるなど、協力している様子も見ることができた。



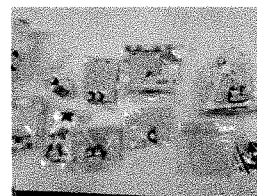
『ハロウィン』

ハロウィン工作としてお菓子を入れるバケット作りを行った。でき上がったお菓子入れは育成室に飾り、当日まで雰囲気を作ることができた。当日は3つのブースに分かれ、クイズ、ボール運び、かるたのゲームを行い、正解した子から順におやつを配っていった。いつものおやつにゲーム要素が加わり、とても楽しいおやつの時間を過ごすことが出来た。



『勤労感謝の日工作』

勤労感謝の日ということで、メッセージカードとカードスタンドの木工作を行った。用意された木の板、どんぐりなどを使い、また絵を描いて飾りつけをしてもらった。メッセージカードに日頃の感謝の気持ちを書いてもらい一緒にプレゼントした。



『クリスマス会』

事前に司会、お手伝いさん、出し物をしてくれる人を募集し準備を進めてきた。しっかりと会を進行してくれ頼もしい姿が見られた。サンタが登場し子どもたちは大興奮だった。学童保育所へのプレゼントを紹介すると喜びの声がたくさん聞かれ、笑顔溢れる会にすることができた。クリスマスにちなんだうたを歌ったが、とても覚えが早く楽しそうに歌ってくれた。子どもたちの出し物では、「おてだま」「こままわし」「マジック」などを披露してくれた。見せる側もしっかり練習してから本番に挑み、みんな大成功だった。見る側もなかなかできないお友だちを「がんばれ！」と応援したり、拍手で盛り上げたりととても良い雰囲気だった。お楽しみでは「ビンゴ」をやり、ビンゴした子からプレゼントをもらった。その後おやつにチキンとチップスを食べクリスマス気分を十分に味わうことができた。



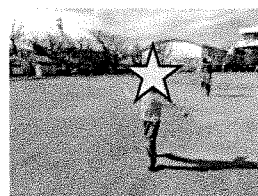
『大掃除』

個人のロッカー拭きと、お友だちと協力し合い、下駄箱掃除、床掃除、窓ふき、机拭き、おもちゃ・本拭きに分かれて大掃除を行い、学童保育所をきれいにした。一度やり始めると気になるようで、その後もきれいに保てるようにしている子もいた。大掃除後は、ジュースをみんなで飲み体を温めた。



『正月遊び（伝承遊び）』

昨年度に引き続き凧揚げと羽子板の正月遊びを行った。凧の材料を去年とは違う普通のビニール袋と竹ひごを使って作成した。凧揚げをしている人同士で意図が絡まったりしてしまっても焦らずきちんと対処することができていた。



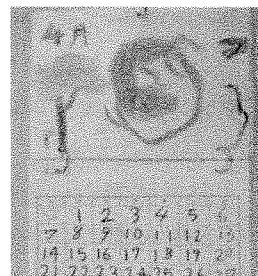
『節分』

豆をまく代わりに新聞紙を丸めたものを鬼の看板にめがけて投げるという形で節分の豆まきを体験した。恵方巻に模したお菓子和福豆を食べ、節分についての豆知識も伝え十分に節分を堪能することができた。



『卒所制作』

卒所制作として2人でペアになりカレンダー制作を行った。子どもならではの季節感の絵を描いており個性的なカレンダーが完成した。絵が苦手な子は日付の部分を担当したり、マスキングテープでデコレーションを担当するなど、工夫している様子だった。



『3年生を送る会』

セレモニーと出し物の2部構成で行った。セレモニーでは、3年生に卒所制作のカレンダーとこれから頑張りたいことや学童保育所での思い出を発表してもらった。事前に一言発表をすることを伝えていたので、スムーズだった。出し物では、ダンスやお笑い、コマ回しなど、それぞれの得意なことをみんなの前で発表してくれ3年生を送る会を盛り上げていた。

おやつには子どもたちに一番人気のあるアイスを提供した。子どもたちはいつものメニューとは違うため、とても嬉しそうに食べていた。



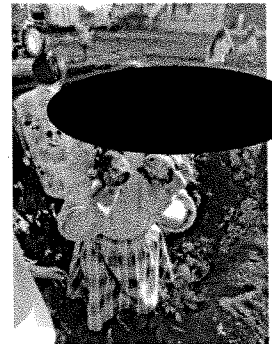
『誕生会』

毎月、司会担当を2、3人募り、子どもたちに仕切ってもらった。誕生月の子どもが恥ずかしそうに、そして嬉しそうにプレゼントを受け取る姿は毎月感銘を受ける。セレモニーの後は職員がゲームを進行し、体を動かすゲーム、頭を使うゲーム、大型絵本の読み聞かせ等、密にならないよう毎月趣向を凝らし盛り上がっている。おやつの内容もいつもより少し特別なものを提供するなどして工夫をした。



『じゃがいも掘り』

地域の達人ということで、近隣の中村園芸に協力していただき、じゃがいもについて教えてもらい、実際に収穫体験もさせてもらった。掘ったじゃがいもの種類、掘り方などについて教えてもらった。子どもたちは楽しそうに作業をした。掘った2種類のじゃがいもを各自持ち帰り、家で食べてもらった。味比べをした話やどのように料理をして食べたか、保護者からも報告をいただいた。その後中村さんにお礼の手紙を書き、渡しに行った。



『避難訓練』

5月：地震想定 7月：火災想定 9月：不審者想定
11月：地震想定 1月：火災想定 3月：不審者想定

(4) 自主事業の実施状況(別紙【資料3】参照)

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一日吉町学童保育所、第二・第三日吉町学童保育所、西恋ヶ窪学童保育所】

『恋ヶ窪ブロック学童交流会～4学童まつり～』

各学童保育所が夏に行った縁日をもとに、第五小学校の体育館で実施した。今年度は新たに第二・第三日吉町学童保育所も加わったことで、4学童保育所となった全ての職員で協力して4学童まつりを開催した。

今年度は保護者の会からも4学童祭りに参加したいという希望があり、お祭りのブースをひとつ担当してもらい参加していただいた。企画の段階から保護者の会の方たちから相談を受けて話し合いを行い、保護者の会はスライム作りを担当。当日のための準備に保護者の方たちが非常に奮闘してくれたおかげもあり、子どもたちからもとても喜ばれるブースになっていた。共にお祭りを作り上げたことで、保護者の会の学童保育所の更なる運営理解に繋げることもできたイベントであった。

参加者の子どもたちは保育園や幼稚園時代のお友だちと久しぶりに会うことができ、嬉しそうにしている姿も見受けられた。488名の参加があり、また実施して欲しいというようなご意見や、このようなイベントを実施することへの感謝の言葉など多くの嬉しい感想を保護者の皆様からいただいたので、今後も続けていけるようにしていきたい。

『プログラミングワークショップ』

プログラミングラボ様に学童に来ていただき西恋ヶ窪学童保育所にて4学童合同でワークショップを行った。各学童の参加希望者がランダムに抽選され均等に参加することができた。恋ヶ窪ブロックの4学童が一同に会したことによって、出来上がったゲームを見たり、保育園時代のお友だちにあったり、他学童同士の交流を深めることができていた。プログラミングが日々の生活の中でどのような役割を持っているのか、今後の社会においてどれほど重要なものになっていくのかを知るきっかけになった。知らない場所や知らない人の中でのプログラミング体験教室とは違い、学童保育所の職員がいることで参加しやすかったという声をいただいた。



『農業体験（しいたけ栽培）』

各学童保育所でそれぞれ実施した。ビオスタイル（さるかに農園）の鈴木さんにご協力いただき、原木シイタケの栽培を行った。植菌から給水、収穫に至るまで、子どもたちに行程を体験してもらった。班活動の一環として、子どもたちが間食後の清掃の時間に、班ごとに週替わりでシイタケに水をあげて育てた。

今年もシイタケの生育が良くなく、鈴木さんのご提案を受ける等してどうにか多くの子たちがシイタケの収穫を体験できるように模索した。芳しい結果を得ることは叶わなかったが、収穫できた分のシイタケは、昼食時に切り干し大根や手作りおやつでスープを作ってみんなで食べ、子どもたち皆に提供することができ、好評を博した。

『配食サービス利用による昼食提供』

今年度より前事業者から委託を引き継いだ第二・第三日吉町学童保育所では、長期休業期間中ににおける配食サービスを行っており、夏休みから第一日吉町学童保育所でも足並みを揃えて開始した。冬休みからは第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、西恋ヶ窪学童保育所も配食サービスを順次開始した。

提供するお弁当については、全事業者が利用していたお弁当業者を引き継いで配食サービスを実施したが、内容が少々、子ども向けの味付けやメニューではなかったことから、あまり評判が良くないという話は前業者から聞いていたので、弊社ではお弁当業者の再選定を行い、新業者を冬休みから利用することになった。さらに注文時に使用できるアプリを導入し、利用者の携帯から注文・支払いができるシステムも開始した。業者変更後から子どもたちからは「前より美味しくなった」と完食する姿も多く見られるようになった。アプリの利便性についても好評であったので今後もより良いサービスを提供できるよう取り組んでいきたい。

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所】

『ふれあいカフェ』

学童保育所で普段子どもたちがどんなおやつを食べているのかを実際に食べてもらったり、子どもたちが遊んでいるおもちゃで遊んでもらったりと、保護者の方々に体験してもらった。日々の子どもの様子をスライドショーで流しながら、保護者と職員も交流することができ、有意義な時間となった。

『地域の達人の技を体験しよう』

ピアノとヴァイオリンのコンサートを第三小学校の体育館をお借りして実施した。土曜に企画したため、親子で参加されたご家庭や、土曜保育の子どもたちは保育の中で参加した。子どもも大人も知っている曲が演奏されたりと、みんなで音楽を楽しんだ。

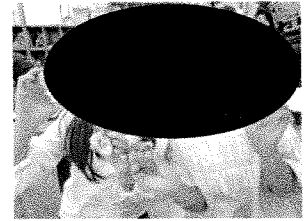
【第一日吉町学童保育所】

『ふれあいカフェ』

前年度も好評をいただいていた、保護者会での学童保育所で提供するおやつの試食会。子どもたちが毎日行っている「おやつの時間」のルーティンを体験してもらう他、年度末の保護者会では『買い物おやつ』のイベントを再現したものを体験していただいた。おやつにどんなものが提供されているかは保護者も気になるころのようで、なかなか反響のある企画である。

『廃材も無駄にしないで木工作』

地域で木材を提供してくださる方から、今回は木の枝を輪切りした木板等をいただいた。その地域の方からご紹介いただいて今年度より入職した職員が、企画を担当した。子どもたちが勤労感謝の日の贈り物として活用できるものとして、ミニチュアフィギュアを組み合わせ保護者をイメージしたブローチを提案。ユニークな工作に子どもたちも面白く工作しており、材料を前に試行錯誤して様々なアイデアを閃いていた。



『地域の達人の技を体験しよう』

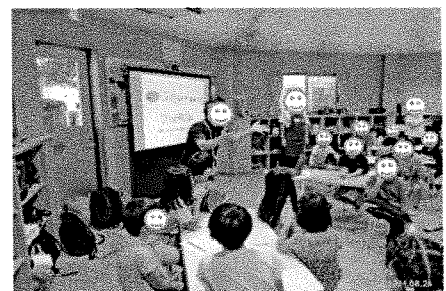
「伝承遊びの時間」の企画・実施に際し、今年度も国際あやとり協会 ISFA に所属されているあやとりインストラクターの方に、ボランティアとしてご協力いただいた。半年前よりコンタクトを取り、主に検定の改定等にご助言をいただき、「ようやく納得のいく検定ができた」とのお言葉もいただけた。今年度も伝承遊びに取り組む期間中に学童保育所にお越しいただき、技術の指導等をしていただいて、子どもたちの取り組みにも一層熱が入った。検定の『表彰式』では表彰状の授与をお願いして子どもたちの努力の成果を見守っていただいたあと、あやとり、けん玉、こままわしのデモンストレーションを披露していただいた。子どもたちはその技を見て、「こんなこともできるんだ」と感銘を受け、更に熱意を燃やしていた。今年度は第二・第三日吉町学童保育所でもご指導をお願いしたが、繁忙期にも関わらず両学童保育所合わせて10日以上もお越しいただけたのは、子どもたちと学童保育所の熱意の賜物だった。



【第二・第三日吉町学童保育所】

『地域の達人の技を体験しよう』

「一般社団法人 日本だじゃれ活用協会」の方をお招きした。子ども達には異学年交流も兼ねて班で参加し、普段何気なく言っているダジャレをクイズ・ゲーム形式で班対抗で色々なお題に挑戦してもらった。実際に考えたり、伝えあっている場面では、普段関わりが少ない子たち同士でダジャレを中心に楽しくコミュニケーションを取ってお題に取り組んでいる様子だった。



『ふれあいカフェ』

保護者会終了後に学童のおやつを提供し、日々の子ども達の様子をスライドショーを鑑賞してもらったり、中々学童に来れない保護者との交流・保護者同士の交流をした。今回は第1回目の開催ということで保護者のみの参加となってしまったが、第2回では親子で参加できるようにする。



【西恋ヶ窪学童保育所】

『ふれあいカフェ』

学童保育所で食べているおやつがどんなものなのか気になる、実際に食べてみたいという保護者からのご意見から実施した。保護者会時に試食会を行った。

『地域の達人の技を体験しよう』

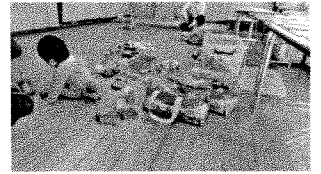
地域の達人ということで、子どもプランなどにも教えに行っている方に学童にきてもらい、子どもたちにあやとりのやり方を教えてもらった。子度たちはいつもと違う新しいあやとりの技をみてとても楽しそうにあやとりを教えてもらっていた。

(5) 親子ひろば事業

【東恋ヶ窪親子ひろば】

今年度も4月、8月と三季休業期間以外の毎週木曜日の午前中に実施した。毎月の行事では、季節に合わせた手形アートや製作などの遊びをした。また、「紙芝居ずづけ」という団体さんに来ていただき、紙芝居、指手形、手遊び歌などしていただき、とても好評だった。

昨年度に比べて利用者の数が増えてきたが、来年度は、施設も新しくなり、週3日の開催になるので、集客が増えることを期待している。



【日吉町親子ひろば】

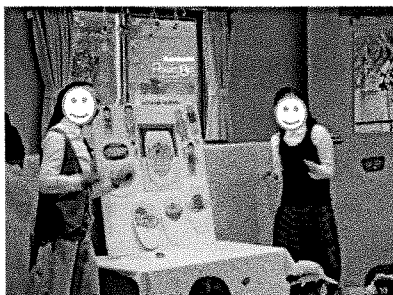
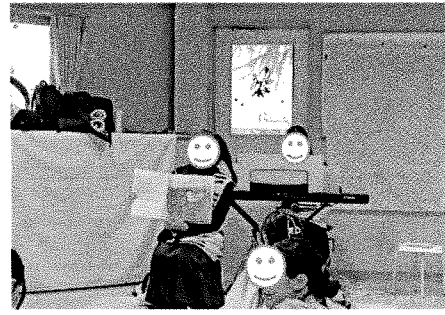
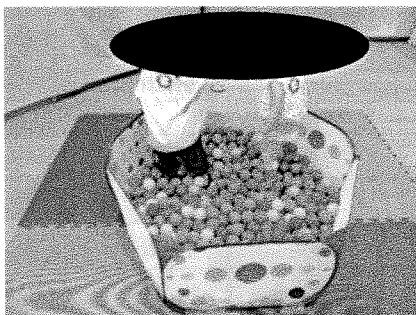
4月、8月と三季休業期間以外の水曜日・木曜日・金曜日の午前中に実施した。今年度より第二・第三日吉町学童保育所内に開催場所を移し、さらに利用しやすいひろばとして多くの方々に来ていただいた。

遊べるスペースも広くなり、今までは狭くて出せなかった滑り台やボールプールなどが人気の遊びになっている。

毎月のイベントとしては、「ひよっこの日」「ひよっこ TIME」「ひーちゃんの日」「あすか先生の日」がある。「ひよっこの日」は、季節の工作を始め、パネルシアター、大型絵本の読み聞かせ、手形・足形制作と、月替わりで様々な行事を行った。0歳児を中心とした乳児に利用を限定する「ひよっこ TIME」は、予想よりも多くの方に利用して頂けて、盛況であった。

「ひーちゃんの日」、「あすか先生の日」には専門家の方から心と身体を健康に保つ方法を教えてもらえたり、育児相談が好評で、多くの方が訪れた。

特別なイベントとしては、柳澤正敏さんによる「エプロンシアターの日」、『Tamama-Duo』のお二人による「音楽の日」、学童職員による「読み聞かせと幼児体操」、保健センターから専門職員の方が来て下さる「ミニ相談会」を開催し、普段にも増して父親などの参加もあり、好評だった。



2. 決算状況等及び施設の利用実績（決算収支状況、公の施設の利用実績（利用者数、利用率等））

（1）決算状況（別紙【4-1】【4-2】参照）

（2）利用実績

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所】

① 保育日数

第一	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	21日	20日	1日	10月	22日	22日	0日
5月	23日	20日	3日	11月	21日	20日	1日
6月	20日	20日	0日	12月	20日	20日	0日
7月	26日	22日	4日	1月	19日	19日	0日
8月	21日	21日	0日	2月	18日	18日	0日
9月	19日	19日	0日	3月	20日	20日	0日

第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	8日	8日	0日	10月	22日	22日	0日
5月	20日	20日	0日	11月	22日	20日	2日
6月	20日	20日	0日	12月	23日	20日	3日
7月	22日	22日	0日	1月	22日	19日	3日
8月	25日	20日	5日	2月	21日	18日	3日
9月	21日	19日	2日	3月	25日	20日	5日

②登録児童数

第一	1年	2年	3年	その他	計
4月	30	31	26	2	89
5月	30	31	26	2	89
6月	30	31	25	2	88
7月	30	31	25	2	88
8月	30	32	26	2	90
9月	30	32	26	1	89
10月	29	32	24	1	86
11月	28	31	24	1	84
12月	30	30	24	1	85
1月	30	29	24	1	84
2月	30	29	24	1	84
3月	30	29	23	1	83

第二	1年	2年	3年	その他	計
4月	25	27	20	0	72
5月	25	29	21	0	75
6月	26	29	21	0	76
7月	25	29	21	0	75
8月	26	30	24	0	80
9月	28	30	24	0	82
10月	28	30	23	0	81
11月	28	29	23	0	80
12月	28	28	23	0	79
1月	28	28	22	0	78
2月	28	28	22	0	78
3月	28	29	22	0	79

③保育日数×登録児童数

第一	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	1869	1780	89	10月	1892	1892	0
5月	2047	1780	267	11月	1764	1680	84
6月	1760	1760	0	12月	1700	1700	0
7月	2288	1936	352	1月	1596	1596	0
8月	1890	1890	0	2月	1512	1512	0
9月	1691	1691	0	3月	1660	1660	0

第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	576	576	0	10月	1782	1782	0
5月	1500	1500	0	11月	1760	1760	160
6月	1520	1520	0	12月	1817	1580	237
7月	1650	1650	0	1月	1716	1482	234
8月	2000	1600	400	2月	1638	1404	234
9月	1722	1558	164	3月	1975	1580	395

④出席児童数

第一	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	1183	1177	6	10月	1072	1057	15
5月	1175	1161	14	11月	999	986	13
6月	1144	1144	0	12月	922	901	21
7月	1245	1230	15	1月	908	891	17
8月	903	878	25	2月	828	808	20
9月	1019	1002	17	3月	882	861	21

第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	376	376	0	10月	1051	1036	15
5月	1041	1041	0	11月	1025	1008	17
6月	1074	1074	0	12月	968	951	17
7月	1185	1167	15	1月	921	904	17
8月	926	903	25	2月	934	915	19
9月	1040	1023	17	3月	974	955	19

⑤出席率

第一	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	63.30	66.12	6.74	10月	56.66	55.87	0
5月	57.40	15.22	5.24	11月	56.63	58.69	15.48
6月	65.00	65.00	0	12月	54.24	53.00	0
7月	54.41	63.53	4.26	1月	56.89	53.83	0
8月	47.78	46.46	0	2月	54.76	52.44	0
9月	60.26	59.25	0	3月	53.13	51.87	0

第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	65.28	65.28	0	10月	58.98	58.14	0
5月	69.40	69.40	0	11月	58.24	63.00	10.63
6月	70.66	70.66	0	12月	53.27	60.19	7.17
7月	71.82	70.73	0	1月	53.67	61.00	7.26
8月	46.30	56.44	5.75	2月	57.02	65.17	8.12
9月	60.39	65.66	10.37	3月	49.32	60.44	4.81

【第一日吉町学童保育所】

①保育日数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	21日	21日	0日	10月	22日	22日	0日
5月	23日	21日	2日	11月	22日	20日	2日
6月	21日	19日	2日	12月	22日	20日	2日
7月	24日	22日	2日	1月	19日	19日	0日
8月	24日	20日	4日	2月	20日	18日	2日
9月	22日	19日	3日	3月	20日	20日	0日

②登録児童数

	1年	2年	3年	その他	計
4月	16	16	24	0	56
5月	17	17	25	0	59

6月	17	17	25	0	59
7月	17	18	24	0	59
8月	17	18	24	0	59
9月	16	17	24	0	57
10月	16	17	24	0	57
11月	16	17	25	0	58
12月	16	17	24	0	57
1月	16	17	23	0	56
2月	16	17	23	0	56
3月	16	17	23	0	56

③保育日数×登録児童数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	1,176	1,176	0	10月	1,254	1,254	0
5月	1,357	1,239	118	11月	1,276	1,160	116
6月	1,239	1,121	118	12月	1,254	1,140	114
7月	1,416	1,298	118	1月	1,064	1,064	0
8月	1,416	1,180	236	2月	1,120	1,008	112
9月	1,254	1,083	171	3月	1,120	1,120	0

④出席児童数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	869	860	9	10月	813	797	16
5月	873	864	9	11月	698	682	16
6月	796	782	14	12月	735	726	9
7月	857	844	13	1月	677	670	7
8月	703	689	14	2月	634	622	12
9月	719	709	10	3月	726	710	16

⑤出席率

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	73.89	73.13	0	10月	64.83	63.56	0
5月	64.33	69.73	7.63	11月	54.7	58.79	13.79
6月	64.25	69.76	11.86	12月	58.61	63.68	7.89
7月	60.52	65.02	11.02	1月	63.63	62.97	0
8月	49.65	58.39	5.93	2月	56.61	61.71	10.71
9月	57.34	65.47	5.85	3月	64.82	63.39	0

【第二・第三日吉町学童保育所】

①保育日数

第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	20日	20日	0日	10月	22日	22日	0日
5月	23日	21日	2日	11月	20日	20日	0日
6月	23日	20日	3日	12月	19日	19日	0日
7月	22日	22日	0日	1月	19日	19日	0日
8月	24日	21日	3日	2月	18日	18日	0日
9月	21日	19日	2日	3月	20日	20日	0日

第三	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	19日	18日	1日	10月	24日	22日	2日
5月	21日	21日	0日	11月	22日	20日	2日
6月	19日	19日	0日	12月	23日	20日	3日
7月	22日	22日	0日	1月	22日	19日	3日
8月	16日	16日	0日	2月	22日	18日	4日
9月	20日	19日	1日	3月	24日	20日	4日

②登録児童数

第二	1年	2年	3年	その他	計
4月	21	18	12	0	51
5月	23	19	13	0	55
6月	23	19	13	0	55
7月	23	19	13	0	55
8月	25	20	13	0	58
9月	25	20	13	0	58
10月	25	20	13	0	58
11月	24	20	13	0	57
12月	23	20	13	0	56
1月	22	19	12	0	53
2月	20	16	9	0	45
3月	21	18	12	0	51

第三	1年	2年	3年	その他	計
4月	19	26	10	0	55
5月	20	26	10	0	56
6月	20	26	10	0	56
7月	20	26	8	0	54
8月	21	25	10	0	56

9月	21	26	10	0	57
10月	20	26	10	0	56
11月	20	26	10	0	56
12月	20	26	10	0	56
1月	20	26	10	0	56
2月	20	24	8	0	52
3月	20	25	9	0	54

③保育日数×登録児童数

第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	1,020	1,020	0	10月	1,276	1,276	0
5月	1,265	1,155	110	11月	1,140	1,140	0
6月	1,265	1,100	165	12月	1,064	1,064	0
7月	1,210	1,210	0	1月	1,007	1,007	0
8月	1,334	1,218	116	2月	810	810	0
9月	1,218	1,102	116	3月	1,020	1,020	0

第三	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	1,045	990	55	10月	1,344	1,232	112
5月	1,176	1,176	0	11月	1,232	1,120	112
6月	1,064	1,064	0	12月	1,132	1,120	112
7月	1,188	1,188	0	1月	1,232	1,064	168
8月	952	896	56	2月	1,144	936	208
9月	1,140	1,083	57	3月	1,242	1,080	162

④出席児童数

第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	727	727	0	10月	750	746	4
5月	796	795	1	11月	644	640	4
6月	773	766	7	12月	660	655	5
7月	866	863	3	1月	630	624	6
8月	698	697	4	2月	590	583	7
9月	702	695	7	3月	673	662	11

第三	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	751	746	5	10月	837	829	8
5月	905	904	1	11月	736	728	8
6月	819	817	2	12月	736	729	7
7月	923	919	4	1月	710	704	6

8月	758	751	7	2月	691	683	8
9月	681	679	2	3月	793	783	10

⑤出席率

第二	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	71.27	71.27	0	10月	58.78	58.46	0
5月	62.92	68.83	0.91	11月	56.49	56.14	0
6月	61.11	69.64	4.24	12月	62.03	61.56	0
7月	71.57	71.32	0	1月	62.56	61.97	0
8月	52.55	57.22	3.45	2月	72.84	71.98	0
9月	57.64	63.07	6.03	3月	65.98	64.90	0

第三	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4月	71.87	75.35	9.09	10月	62.28	67.29	7.14
5月	76.96	76.87	0	11月	59.74	65.00	7.14
6月	76.97	76.79	0	12月	59.74	65.09	6.25
7月	77.69	77.36	0	1月	57.63	66.17	3.57
8月	79.52	83.82	12.50	2月	60.40	72.97	3.85
9月	59.74	62.70	3.51	3月	63.85	72.50	6.17

【西恋ヶ窪学童保育所】

①保育日数

4月	21	21	0	10月	24	22	2
5月	21	21	0	11月	23	20	3
6月	20	20	0	12月	22	20	2
7月	22	22	0	1月	19	19	0
8月	20	20	0	2月	18	18	0
9月	20	19	1	3月	20	20	0

②登録児童数

	1年	2年	3年	その他	計
4月	43	43	29	1	116
5月	45	42	29	1	117
6月	45	42	30	1	118
7月	46	42	33	1	122
8月	47	43	33	1	124
9月	49	41	33	1	124
10月	48	41	31	1	121
11月	48	41	30	1	120

12 月	48	41	30	1	120
1 月	48	40	30	1	119
2 月	45	40	29	1	115
3 月	45	40	28	1	114

③保育日数×登録児童数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4 月	2436	2436	0	10 月	2904	2662	242
5 月	2457	2457	0	11 月	2760	2400	360
6 月	2360	2360	0	12 月	2640	2400	240
7 月	2684	2684	0	1 月	2261	2261	0
8 月	2480	2480	0	2 月	2070	2070	0
9 月	2480	2356	124	3 月	2280	2280	0

④出席児童数

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4 月	1721	1705	16	10 月	1625	1615	10
5 月	1738	1729	9	11 月	1462	1449	13
6 月	1599	1575	24	12 月	1472	1464	8
7 月	1771	1753	18	1 月	1444	1431	13
8 月	1417	1396	21	2 月	1232	1209	23
9 月	1247	1236	11	3 月	1379	1357	22

⑤出席率

	全日	平日	土曜日		全日	平日	土曜日
4 月	59.34	69.99	0	10 月	55.96	60.67	4.13
5 月	70.73	70.37	0	11 月	52.97	60.38	3.61
6 月	67.75	66.74	0	12 月	55.76	61.00	3.33
7 月	65.98	65.31	0	1 月	63.87	63.29	0
8 月	57.14	56.29	0	2 月	59.52	58.41	0
9 月	50.28	52.46	8.87	3 月	60.48	59.52	0

3. 従事者育成に係る研修実施状況

(別紙【資料5】参照)

4. 利用者意見及び自己評価(利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価)

※事業実施状況自己評価は別紙【資料6】参照

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所】

① 利用者アンケート調査結果

指摘された点

- ・兄弟ともにあまり学童に行きたがらず、その理由が何なのか気になっています。
- ・夏休み期間中、発熱と嘔吐でお迎えを要請されたが、外で遊んだ直後等、熱中症を疑う状況だったのに、体を冷やして休ませるなどの措置は全くとられていなかった。(帰宅して水分補給と体の冷却で回復した) 職員の方の個人差もあると思うが、そうした場面での危機意識をもう少し高く持って欲しいです
- ・学童の入所人数に対して、部屋が狭いことが一番の懸念だが、来年は新校舎の1階が学童になるようなので、来年に期待したい。
- ・外で遊べる日が少ないと子供から聞いている。天気の影響やルールがあるのかもしれないが、スペースが狭い分、可能な限り外遊びを増やしてほしい
- ・夏休みなどの長期休みの際、お弁当の注文など外部の配食サービスを利用できるようにしてほしい
- ・遊べるおもちゃがみんなで使えるほどなかったり、自由に遊ばせてもらえなかったりします。(レゴやLaQなど知育や集団での遊びに適していそうなものも)
- ・何が制約条件になっているかまで思い至りませんが、学童で長い時間を過ごす子もいるので、少しでも好きな遊びをやらせてあげてほしいなと思います。
- ・子が近所の友だちと遊ぶほうが楽しいようで学童での生活をあまり楽しんでいる様子はあまり見られないため、設問4,5についてはこのような回答としております。学童の運営内容については満足しておりますので、今後もよろしくお願いします。
- ・特にありません
- ・朝7時半からの開所にして頂けると助かります。
- ・子供同士のトラブルや保育に関して保育者の目が行き届いていないように思います。
- ・保育者の人数や子供の人数に対して十分な場所の確保の改善をしていただきたいです。
- ・利用料金の補助が出ると良い(月の負担額)
- ・児童のトイレが男女別になっていないのは防犯衛生上あまり良くないかと思います
- ・設問14について、職員の皆様の対応や運営は問題なく良いと思っているのですが、いかんせん建物が狭すぎです。児童たちも窮屈そうで、狭いが故の諍いもあると思います。早急に設備の改善を市に望みます。また、一部学童でのみ、3期休業期間の弁当給食の提供があるそうですが、こちらに至急全ての学童に実施を求めます。
- ・おやつについて育ち盛りの子供達、お腹がすくようで、保育園みたいにおにぎりなどが出ると嬉しい。
- ・4月からは新しく校舎ができるのでゆとりができるのかなと期待している。
- ・施設が狭いこと、グラウンドが工事で狭くなり外で遊べなかったと残念そうに帰ってくる以外は

とてもよくしていただいていると感謝しています。

- ・保育園では、19:00 まで利用する児童には夕食がでていたので、おやつだけではなく、軽めの食事が出ると安心して働けますが、私も残業せず帰るという強い気持ちは、食事が出ないことがモチベーションになっているので、複雑にも感じます。

- ・出欠連絡が、せめて当日の朝までだとありがたいのですが…。アプリになってから電話をする回数が多くなってしまいました。

- ・子どもが宿題に取り組むための試みをしてほしい。

- ・ただ今新校舎建設中ですが、やはり現学童の老朽は否めません。早く新しい学童が開所すると良いです。児童数が多く、職員皆様には感謝しています。これは学童の皆様の責任ではありませんが、開所時間は昨今の社会環境鑑みて見直しても良いのではと考えます。保育園とのギャップが大きくいわゆる壁を大きく感じる。行政にも訴えていきたいと思います。

- ・成長と共に子供が学童に行く事を嫌がってしまう事が多くなり、仕方がなく留守番や、在宅業務の時は家に帰らせる日が来ている。

- ・3 季休暇期間のお弁当を申し込み制にしてほしい。何十年も変わらないのは意味がわからない。

- ・37 度前半までのお迎え要請の連絡があるが、もう少し様子を見て貰えると助かる。

- ・長期休暇の時に弁当提供をしてほしいです。

- ・送り迎えの際に親と目が合っても挨拶もしてくれないスタッフが時々いる。毎日預けている場所でそのような対応をされると、預けている親として、とても不安になる。子どもへの対応も似た様になっている可能性がある。新人の方でない方でもあります。改善を希望したい。

- ・いつもありがとうございます。

評価された点

- ・3 年生で終わりだから寂しい、高校生までいたい、と言っています。笑

- ・おもちゃがめっちゃ楽しい、とも言っています。

- ・アプリで登所予定を入力できるようになったり、入退所の通知が届き助かっています。

- ・でんしょばとの入力時間内には工作中なので、入力時間をのばしてほしい。備考欄もほしい。ただ、連絡帳廃止により工作中的の電話連絡が難しい時があり、代わりにメールのような機能があったら良いと思います。

- ・いつも大変な中、ありがとうございます。

- ・安全に楽しく過ごせるよう、今後ともよろしくお願いいたします。

- ・工事で校庭が狭く大変な中、子ども達の過ごし方を色々考えてくださってありがとうございます。

- ・いつもありがとうございます。あれだけ多くの子供たちを束ねてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

- ・感謝しています。

- ・ありがとうございます。

- ・いつも大変お世話になっています。あんなにも多くのこどもたちの対応をしっかりとしてくださり、職員の皆様には感謝しかありません。一方で、あの狭い中でこどもたちは窮屈な思いをしていないかとずっと心配に思っています。雨の日や 3 季の休みなどどんな状態なんだろうかと…。校庭も狭くなってしまって。毎日過ごす場所なので、校舎の増築を待つのではなく、対応できることから少しでも環境を改善していただけることを強く望みます。

- ・小学6年生まで利用できるようになることを希望いたします。
- ・利用人数が多い中、保育スペースの確保にご尽力頂いていること感謝しております。
- ・いつも遅くまでありがとうございます。家でも学童での話を楽しそうに話してくれます。
- ・いつもありがとうございます！
- ・狭いことが気になるが工夫してくださっていると思う。ありがとうございます。

考察

狭隘状況に関することは、新施設への移転により指摘された大半の項目が解消されることと思う。新校舎増設工事に伴い、校庭の遊べる範囲も制限されていた。放課後子どもプランの遊びの場が実施されている日には、学童保育所から校庭へ出る子どもたちを前半／後半に分けるなど、工夫をした。

安心でんしょばとの導入により、出欠の連絡をアプリでできるようになったのは好評である。ただ、前日の17時までという制約があることが難であり、メール機能の要望もある。これらについては徐々に改善され、年度内に解消している。

配食サービスの要望が寄せられているが、冬休みから導入した。おやつについては市販のお菓子の他、パンやおにぎり類、職員の手作りおやつ等の工夫を重ねている。

体調不良の対応について、厳しい指摘をいただいている。研修を受ける、ひとりで判断をしないで責任者に確認をすることや、まわりの職員と相談して対応することを徹底する。

アンケートについては全職員で共有し、改善できるところから改善をした。職員の対応についても対応に差が出ないように情報共有をしっかりと行い、対応するよう努めていきたい。

【第一日吉町学童保育所】

①利用者アンケート調査結果

指摘された点

- ・どこの学童も同じだと思うが、人数に対して部屋が狭い。
- ・住む地域で日吉町は第一・二・三と分かれるがあまりにも二・三より施設が古く不公平さを感じる。
- ・もう少し広くなるとありがたいです。
- ・夏休みは猛暑もあり外遊びできないのがわかるが、もう少し体育館を活用して遊ばせることはできないか。
- ・夏場、室内が暑すぎる。子どもの人数が多く、クーラーが効かないのでしょうか。
- ・配食サービスが始まり大変感謝しているが、子ども向けの配食内容の業者を国分寺市として手配や調整できないか。
- ・今年の夏から配食サービスも開始され喜んだのも束の間、美味しくないから頼まないでほしいと子どもから懇願されました。配食の子がいて、友達からも「やばいね」と言われるようで泣いて嫌がる子もいると聞きました。せっかくのサービスなのに子どもたちの間でそのような位置づけになってしまっていることを残念に思います。その他の事は概ね満足して安心して通わせて頂いてます。
- ・配食弁当が子ども向けではなく子どもが食べず残念です。
- ・できれば四・五年生も預かってもらいたいです。
- ・各学童における対応品質目的のアンケートだと思うので、少し主旨がズレますが四年生以上の受け入れを検討いただきたいです。

- ・第二・第三のお友達との自由な行き来・交流をもう少し増やせるとありがたいです。
- ・安心でんしょばとで出欠をとるのはいいが、使い勝手がまいちだと感じます。登録の通りじゃなく臨機応変に対応していただきたいです。

評価された点

- ・日々のきめ細かなご対応に心より感謝しております。引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。
- ・本当に職員の皆様にはよくして頂きました。夏休みの配食開始もトイレの新設も喜ばしいことです。お世話になっております。
- ・日々のきめ細かなご対応誠にありがとうございます。職員皆さまが本当に親身になって子どもたちに接してくださっておりいつも感謝しております。
- ・いつも職員の方々が色々な遊びを提供してくださり、イベントや行事を盛り上げてくださるので、学童が楽しくて仕方ないといつも話しています。
- ・全力で子どもたちを楽しませたい、自分たちも一緒に楽しみたいという思いが常に伝わってきます。
- ・第一日吉町学童の方々（過去から現在の所属方全て）にはとてもよくしていただいております。
- ・三季入所ですが、学校とは異なる文化のようで、楽しいようです。
- ・学童は三季利用ですが、いつも通うのを楽しみにしております。学童にいかない日も、朝、学校で先生方に挨拶してもらえてとても嬉しいようです。いつもありがとうございます。

考察

前回までのアンケートでトイレの環境改善についての指摘が多く、今年度によりやく改修工事を実施することができた。職員で改修中の保育についてどうすればいいかを話し合い、その流れを子どもたち、保護者に伝えてその協力を得てなんと一ヶ月の改修期間を終えることができた。新設されたトイレは子どもたちや保護者にとっても喜ばしいことであり、今年度のアンケートで評価された点にも繋がった。

長期休み期間の昼食提供を希望する声が多数あり、今年度の夏休みから第一日吉町学童保育所でも配食サービスを開始した。既に第二・第三日吉町学童保育所では配食サービスを実施していたので、お弁当業者は前事業者より引き継いだ同業者で配食サービスを実施したが、お弁当内容が高齢者施設向けのものであり、子ども向けのメニューや味付けではなかったことから、あまり食べない子どもが多かった。結果として、アンケートでの保護者からの指摘があり、お弁当業者変更を求める声が多かった。それらの意見を踏まえ、早速冬休みから業者変更を行い、さらに学童保育所と業者を繋ぐ仲介業者「PECOFREE」アプリを導入し、利用者の携帯電話から注文・支払いができるシステムを開始した。実際にお弁当は「前より美味しくなった」と完食する姿も多く見られるようになり、保護者も安心したようで、アプリの利便性についても好評であった。今後も質の高いサービスを提供できるよう取り組んでいきたい。

評価された点については、保育の質を落とすことなく、今後も保育に活かしていきたい。アンケートのみではなく、お迎え時や電話、連絡帳を通して伝えてくださる保護者の声を大切にし、児童と保護者をなによりも優先した対応をしていくよう努めていきたい。

【第二・第三日吉町学童保育所】

①利用者アンケート調査結果

指摘された点

- ・学童の職員さんは、よくやってくださっている、礼儀正しい、と感じる方と、社会人として疑問に思える方との差が激しく、正直失礼な人だなと感じることがよくあります。また、お迎えの連絡も事前に連絡していた時間より前後しそうな時に、帰路の合間に連絡を試みてもなかなか連絡がつかなかったり、連絡がついたと思ったら、「(忙しそうに)そんなことで連絡してきたのか」と言うような態度であったり、逆に連絡がつかないまま到着してしまい、予告より遅めにお迎えに行くと「もう〇〇時ですね」と嫌味？のようなことを言われたりと、落胆する態度を取られる事があります(お迎えが19時を超えたわけではありません)。
- ・三季の長期休みに関して、7:30 からにしていただけると助かります。あと、長期休みのお弁当の内容が子供向けではないのでその他の私立小学校などでどんな業者を使っているかリサーチしていただき他の業者を頼んで欲しいと思います。少しぐらい料金が上がっても美味しい方が子供達も喜ぶと思います。
- ・産休中は産後2ヶ月程度までしか学童保育に預けられないことについて、もう少し長い間学童で友達と過ごさせてあげたい。生まれたばかりの子にかかりきりで上の子が家に帰ってきててもかまってあげられないのがかわいそう。産後2ヶ月は体力が戻っていない母親も多いと思うし、家事もままならない時期なので辛い思いをしている家庭が多いのでは。
- ・保育環境について、定員を大きく超えており適切だと思えない。
- ・もう改善したのかもしれないが、電話回線の故障が多く、連絡しにくい時期が多かった。
- ・17時集団帰りのはずが、17時前に帰宅の連絡が来る。家も近いので、17時5分とかに帰宅してしまい、ギリギリ間に合う日ばかりではないので17時の時間を守ってほしい。
- ・ロッカーに忘れ物をよくしてしまうのですが、保護者は部屋に入れない決まりで、子供が持ってくるまで遅く、室内も見えない状態でどうやら遊び始めてしまったようで、すごい待たされて、子どもに声かけや一緒にロッカーを見てくれたら助かります。
- ・子どもに聞くとおやつが市販のお菓子やチョコレートなどジャンクな物が多いので、もう少し身体に優しいものも用意してもらえると嬉しいです。
- ・おおむね、学童の方自体には感謝しておりますが、二学年と三学年のお子さんの態度に不安を感じる時があります(暴れたり、宿題を邪魔したり)。
- ・家庭からの連絡事項を送信できるツールを用意してほしい(既読になったか送信者側が把握できるのであれば返信は無し又は定型文でも構いません)。
- ・追加料金を払っても良いので、もっとヘルシーなおやつに変えてほしい。連絡帳が廃止になり、コミュニケーションが取りにくくなった。全ての連絡が電話を基本としているが、アプリ内で気軽に連絡を取れるようにしてほしい。追加料金を払うので、プログラミング教室、そろばん教室などと提携して、学童内でも受けられると良いと思います。
- ・いつもありがとうございます。宿題をやる時間にもう少し促して頂けると助かります。また、夏休みなど、水筒がほとんど減っていない日が何度かあったので、水分補給を促して頂きたいです。
- ・車で迎えに来ている人がいて、道路をふさいでしまっていることがある。縁石に乗り上げて送迎していても、歩道をふさいでいるため児童が道路に出てしまっている。そこへ車が進入してきたりと危険を感じる。自家用車の送迎は禁止してほしい。

・昨年までの事業所は集団下校にルートに沿って職員の方が子供の下校に付き添っていただけでしたが、新事業所になり集団下校でルートまで付き添うと4月に説明していたが実際は校門で見届けるに留まって子供は一人で帰っていた。先日の強盗事件の時も集団下校するとのことだったが一人で下校していた。事前に出来ないことを知らせて頂ければ親が対応することもできるのでお知らせいただきたい。冬時間になり集団降所自体も廃止すると連絡いただきました。昨年市から事業所変更でも影響は少ない、安心してほしい旨ご連絡がありましたが、先日の説明会も非常に保護者からのクレームの嵐で明らかに質が低下しているようです。人手不足なのは分かりますが安心して預けられるかは不明です。市の事業所選定基準などを教えて頂きたいです。

・10月から付き添い無しで帰ることに不安がある様子です。まだ、低学年なので、付き添いがあった方が良いのかと思います。

・このような利用者アンケートの結果を、学童保育の指定事業者の変更の審査の時に、考慮してほしい。今年度、事業者が変更になったが、利用者の満足度が、指定に反映されているとは思えず、満足度の高い事業者から、低い事業者に変わり、満足度が重視されていないことは不満である。子どもの話を公平に聞かず叱ったり、問題点ばかり見つけて報告してくる指導員、補助員の対応に、質の低下を感じた。国分寺市は、学童保育の目的を踏まえ、数の確保だけではなく、質の担保も十分考慮して頂きたい。学童保育の子ども会議で、「怒られないこと」が目標となったと聞く。適切な保育となるように、国分寺市は、定期的な研修を行っていただきたい。このようなアンケートのみではなく、市の職員が巡回して、安心安全な場になっているかどうか、確認して欲しい。

・本年度から職員が入れ替わっていると思いますが、職員の対応には疑問を感じる事が多々あります。子供達（他の家のお子様も含め）学童がつまらなくなった、行きたくなくなったとも言っております。迎えに行った時とかに見ていると注意の仕方などは酷いなど感じております。

・学校が長期休暇になるときの朝の保育開始時間を早めてください。8時からでは仕事に間に合わない。子供が複数いる場合は保育園の送迎もある。遅くても7時半からが望ましい。もっと共働きの住民の生活を理解して運営方針を決定してください。また集団での帰宅時、職員の付き添いなくなるのは安全軽視としか思えない。前の運営会社の方が親切で丁寧、安全への配慮があった。直してください。

・昨年までの運営者の対応がとても良く、子どもたちからも学童の職員の方からも学童で楽しく過ごしている話をよく聞きました。今年、運営者が変わり、あまり学童に行きたがらないため、子どもが安心して通える学童にしてもらいたい。

・もう少し、子供の学童での様子などを伝えてもらえる機会があると嬉しいです。

・今年度第二・第三日吉町学童の運営が変わって、先生方もなれないことは多いと思いますが、前の運営、先生がとてもよかったですにあまり子供達に寄り添っているようには思えません。お迎えの時も適当で、先生が来ないことも多く、さようならの挨拶もないこともありました。子供は帰ってよいのか戸惑っていました。以前の先生方はとても楽しそうに1日の子供達の様子を一人一人伝えていました。一緒に遊んでいないからとくにエピソードもないのかな。遊びの時間も前は先生達も全力で遊んで頂いていたみたいなのでとても楽しそうだったのに、今年度先生が変わってから学童が楽しくないようで行きたがりません。よくなる改革ならともかく、いまだになぜ運営が変わったのか全く理解ができません。新しく入る子たちならよいと思いますが、変わった中にいた子たちは戸惑いが多すぎたと思います。

・学童の職員さんとても親切で、申請者ほぼ利用できるのはとてもありがたいです。ただ、夏休み等登所者が集中するにも関わらず室内で過ごさなければならない日の環境が気になります。(外は暑くて行けない→皆室内で過ごす→定員オーバーで受け入れをしているので教室はかなりの密なのではないか、空気は悪くないのか、他児童との距離感、揉め事は起きやすいのではないだろうかという心配)毎日の報告が大変なので、一日あたりの登所人数など、説明会の際などに教えていただけたら想像しやすいかと思います。

・昨年度はアンジェリカさんの運営で満足していましたが、今年度からワーカーズコープさんの運営に変わり、非常に残念に感じています。年度初めの説明会では、アンジェリカさんに負けないような運営を本部の方は自負されていたようでしたが、実態を知らないのでは無いかと勘繰ってしまいます。特に、保育スタンスが学校の延長線のように、指示語や否定語が多く、大きな声で怒る等、一部の児童を叱ることで他の児童へ、学童保育所に行きたくない気持ちにさせており、悪影響が出ています。限られた人員でご対応いただいております、現場の先生方には感謝しております。ワーカーズコープの本部の方は、今一度、足元の体制、職員の方の声、児童の声に耳を傾けていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

評価された点

・毎日帰ってくると今日はこの職員さんと遊んでもらった、～を教えてもらった等と楽しかった事を沢山話してくれます。いつも楽しく過ごさせて頂き感謝しております。

・夏休みの期間、子どもの安全を守り、水分食事をしっかりとらせくださり、毎日子どもが楽しく成長出来る環境を作って下さいました。先生方の子ども達に対する誠実な対応、愛情に感謝しています。何かお礼に出来れば、ともどかしい思いがあり、先月、国分寺市の市民の声に素敵な学童があることを報告したところです。お困りのことなどあれば、市やワーカーズコープ様に保護者から働きかけも出来ますので、よろしくお願いします。

・日々子どもたちの育成にご尽力いただき、本当に感謝しております。ありがとうございます。

・入所当初にこどもの特性で不安な面がありましたが、面談の時に丁寧に状況を聞いて頂き、対策のご提案もくださり安心して入所することが出来ました。入所後のトラブル時もその後の様子などお伝え頂けたり、丁寧にご対応頂きました。学童が楽しいと毎日通ってくれていることが、なによりです。引き続きよろしくお願いいたします(おやつは足りないそうです。笑)。

・国分寺市は、他の県よりも丁寧に学童保育の運営がなされており、安心して子供を預けることができています。

・子どもが1日の出来事を詳しく話してくれるタイプではないため、様子があまり分からないという思いはあります。ただ、お便りにたくさん子ども達の写真を載せてくれたりしているので、職員の方が子どもの様子を伝えようとしてくれていることは伝わってきます。子どもたちからも楽しそうなイベントの話聞かせてもらうこともあるので、色々工夫をして子ども達と接してくれていることにとっても感謝しています。電話対応もとても感じよく、いつも助けていただいております。

考察

令和6年度から運営事業者が変わり、令和5年度までいた子どもたちにとっては特に変化の大きかった1年だったと思う。アンケート結果から見ても、子どもや保護者の方からの貴重なご意見をたくさんいただき、改善しなければならないことが多くあった。職員の対応や施設に関することな

ど、ハード面、ソフト面のどちらも今すぐに改善することは難しいが、積極的に研修に参加し、子どもたちを第一に考えた支援、安全にも配慮し、職員も同じ方向を向きながら、改善に努めていきたい。評価いただいた点については、引き続き継続していき、子どもたちや保護者の方にご満足いただけるよう努力していく。。

【西恋ヶ窪学童保育所】

①利用者アンケート調査結果

指摘された点

- ・学童にメッセージを送れるソフトを導入して欲しい。電話のみの対応以外で伝えられる方法が欲しい。
- ・今までの連絡帳の代わりにでんしょばとアプリ内で先生方への連絡やりとりが出来るようになっていただけると助かります。
- ・「安心でんしょばと」には保護者からのメッセージが入れられず、不便です。以前のように連絡帳に書いて持たせたら、「連絡帳は使わずに電話をください」とのこと。勤務中はなかなか私用電話はかけられないので、困っています。
- ・アプリの出欠変更時間を過ぎてから学童へ連絡がある場合、電話ではなくメッセージなどで伝えられると助かります。
- ・学童の先生にリアルタイムに連絡ができると助かります。電話をしても通話中で繋がらないことも多いのでLINEやアプリで簡単に変更できるようになってほしいです。・子どもによると連絡ノートは廃止されたらしく、何かあるたびに電話しなければならないのは面倒で困る。アプリから連絡できるようにしてほしい。
- ・音(電話)だけではなく、文字で残せる伝達手段を検討していただきたい。
- ・電話だけでなくメールでの連絡も可能だと助かります。
- ・出欠の変更を当日の朝までメールで可能になるといい。
- ・でんしょバトアプリが使いにくい。仕事をして明日の予定を確認して、せめて20時までなどにしてくれないと結局電話連絡しないといけない。電話連絡してもアプリと時間が違うので仕事中に確認の電話がかかってくる。先生たちも二度手間で大変だと思う。
- ・連絡帳からアプリのでんしょばとになり、こちらからの連絡手段が電話以外なく、伝えたいことが伝えられないことがあります。
- ・夏場のお弁当を保管する冷蔵庫もしくは冷蔵ボックスの設置をして欲しい。
- ・「夏休み期間のお弁当の保管状態の改善」。お弁当については、クーラーボックスに入れるなどさせて貰えると安心です。
- ・コンビニなどで買ったものの持参も許していただけると嬉しいです。
- ・保育園と違い、学童はただ預かってもらうだけの場所なのかなと感じることがあります。
- ・とにかく「預かる」のみで他の自治体のように人数を制限したり、子どもたちがくつろいで安心して過ごせるように改善してほしい。他の自治体のように学童だけでなく、放課後にそのまま校庭や教室で遊べるような環境が整えば、学童の利用者も減ると思います。
- ・他の学童の様子や内容が知れるような機会があると有り難いです。
- ・室内で拡声器？を使用して子どもを呼んだり、指示をするのはどの学童でも普通に行われていますか？

- ・どの学童でも子どもがまだ遊んでいる時間帯で掃除機をかけているのでしょうか？
- ・2年生が来るまでは本と静かに遊べるおもちゃのみというのは本当ですか？制限の理由も知りたいです。
- ・学童に行って放課後子どもプランに参加するときのルールが複雑過ぎて分からない(どういう条件なら親の付き添いがあるかなど)ルールがよく分からないので参加を断念している。他の保護者からは、学童から放課後子どもプランに参加するのに付き添いを拒否されたり、放課後子どもプランに参加するなら学童の参加自体を拒否されることもあったと聞いた。学童と放課後子どもプランの両方に参加する場合のルールを明確にして保護者に理解できるように分かりやすく周知してほしい。
- ・おやつが無添加だと嬉しいです。
- ・現在一年生ですが、上の学年の子に意地悪をされることがあるそうです。他の一年生のお友達も同様に意地悪されることがあるようです。そのことで、学童に行きたがらない日もあります。対象児への適切な指導、保護者への連絡をしていただけるとありがたいです。
- ・下級生の子に暴力を奮う子の情報が親同士でも共有されるくらいあります。集団降所などもありますが、極一部の子どものみで、できれば下級生との関わりは最低限にして欲しいです。
- ・消火器の事故については学童での状況把握や反省がまとまり次第なにか文書等で報告します、と伺っていますが、結局なにもありません。今回のことを「何もなかったからよかった」で終わらせるのではなく、きちんと子どもを見られていたの等を含め、しっかりと振り返りを行い、保護者に周知していただきたいと思います。
- ・マンガを読むのが楽しいようで、新しいマンガも読みたいとのことでした。
- ・夏休み期間は暑くて外に出られない時間もあり室内時間が増えるため、飽きない様に、新しい本や遊び道具なども、人数に合わせて交換していって頂けると楽しく過ごせるかと思います。
- ・おやつの時間の連帯責任をやめてほしい。一人がうるさくしていると、同じ班の他の子がおやつをもらえない。早くおやつをもらわないと食べたいおやつがなくなってしまうため、同じ班の人同士でトラブルになりやすく、暴力沙汰になることもある。静かにした人からおやつを食べられるようにしてほしい。
- ・留守番電話に電話をすると応答メッセージが2回流れる。メッセージを残すのに時間がかかるので改善してほしい。
- ・現状学童内での子供の様子がほぼ分かりません。利用者数も多く大変だとは承知のうえですが、週一程度、でんしょばとへの全体メッセージだけでも構わないので様子が分かると嬉しいです。
- ・電話連絡で事前に欠席連絡をいれても、職員内で共有できておらず、結局学童から「来てないんですけど」と電話がきたことが2回ありました。
- ・インターホンを押して入る際、反応なく施錠解除されてしまうことがあり、保護者であることが確認されているのか不安に思うことがあります。
- ・私も小学生のとき学童に通っていましたが、誕生日児に向けて友だちからのメッセージが何枚でも自由に描ける時期がありました。誕生会の時に先生が取りまとめてくれました。もらう時も書くときも楽しかった思い出があります。子どもの自由時間の穴埋めにもなるのでと思い提案させていただきました。
- ・子どもがその月にある行事の日程を把握していないことが多かった。今年度は休みがちであった為なのか…自分の誕生会の日もわかっていなかったのも、休んでしまった。どんな風に子どもたちに知らせているのか？

- ・スタッフの人員を増やして欲しい
- ・子どもの人数に施設の広さ、職員の数が見合っていない。
- ・人数に合った広さの場所が必要だと思います。
- ・「全体的な受け入れ人数の削減(上限人数を守ってほしい)」。人数の問題は、学校併設の学童に皆が入りたい気持ちはよくわかるので仕方ないとは思いますが、最近の度々の風邪の流行などやはり子どもを詰め込み過ぎているせいかなと思ってしまいます。
- ・お迎え予定で集団降所を選べるようにしてほしい。
- ・四年生まで利用できたら、ありがたかったです。
- ・希望すれば4年生以上も小学校に併設の学童を利用できるようにしてもらいたいです。
- ・4年までの利用が可能になるといい。
- ・学校が休みの間(夏休みなど)だけでも6年までの利用ができるといい。
- ・一日保育時間を保育園と同じにして欲しい。下に子どもがいたときは、仕事の都合上7時台に家を出る必要があったため。

評価された点

- ・心配事を相談した際の手厚い対応にとっても感謝しております。
- ・夏休みに体育館を使った身体を動かせる機会があったのはありがたかったです。
- ・夏休み期間中、体育館開放や水遊びなど創意工夫いただきましてありがとうございます。
- ・本なども多く、友達と楽しく過ごしているようで満足しております。
- ・欠席の際入力忘れがあったときに確認の連絡がありました。昨今の起き忘れ事故を考えますとしっかりと管理して下さっていると感じ、大変有り難い対応でした。お手間を増やさぬようしっかり入力いたします。
- ・毎週、土曜保育を楽しみにしています。土曜日はお友達も少なく寂しいみたいですが、先生たちが沢山いて楽しいみたいです。
- ・子供たちのために工夫を凝らして、楽しく安全に過ごせるようにして下さいと感じます。
- ・定員オーバーでも受け入れて下さって助かっています。

考察

クーラーボックスで夏休みのお弁当を預かれないかという要望には、学童内の冷房をきかせ、引き続き各ご家庭で対策を取ってもらえるようお願いし、ご理解・ご協力をお願いしていく形とならざるを得ない。コンビニで購入したものの持参については各ご家庭で判断していただいております、制限はしていない。保護者会や入所説明会で改めて分かりやすく説明をしていく必要がある。保育園との違いなどに関する意見については来年度の行事の内容の見直しを行いたい。学童内の広さに関する指摘や職員を増やしてほしいという意見に関して、市とも検討し改善に向かっていければと思う。職員の連携不足やケアレスミスによるものも意見としてあるのでより一層注意していきたい。

5. 苦情対応に係る記録

【第一・第二東恋ヶ窪学童保育所】

今年度、施設運営に直接関わる苦情はなかった。

詳細は別紙【資料7-1】参照。

【第一日吉町学童保育所】

今年度、施設運営に直接関わる苦情はなかった。

詳細は別紙【資料 7-2】参照。

【第二・三日吉町学童保育所】

今年度、施設運営に直接関わる苦情はなかった。

詳細は別紙【資料 7-3】参照。

【西恋ヶ窪学童保育所】

今年度、施設運営に直接関わる苦情はなかった。

詳細は別紙【資料 7-4】参照。

6. 事業計画書に掲載した計画の実施状況

今年度は計画していた行事などすべて実施することができた。また、新しく第二・第三日吉町学童保育所の運営が前事業者から引き継がれた。前年度からの引き継ぎも十分ではない中、4月から運営事業者が変わり、保護者も子どもも職員も不安の中スタートした。事業者が変わり、少しずつ保育のやり方などを良くしていこうと職員の中では変えていこうとしていたが、なかなか保護者の方との関係が上手くいかず、悩みながらも運営をしていった。子どもたちのために色々なことを考え、運営していく中で少しずつ保護者や子どもたちと関係性を作ることができた。

自主事業で行った4学童まつりでは日吉町の保護者の会方がブースを持ってきて、スライムづくりをやってくれた。

今年度の冬休みから配食サービスを全学童保育所でスタートし、希望のご家庭は利用していた。引き続き、利用しやすい金額など検討しながら継続していく。

手作りおやつや手作り昼食では子どもも参加させた現場もあり、長い間できなかった体験ができた1年だった。

7. その他管理の実態を把握するために必要な事項等

(1) 各種会議への参加

国分寺市主催の会議は必ず出席した。また、当法人の様々な会議にも参加し、他自治体の現場の様子や実践などを聞く機会があり、現場に持ち帰りより良い運営に努めた。その他にも他現場の事故報告を共有し、リスクマネジメントを意識し保育に活かしている。

恋ヶ窪ブロックの常勤職員での会議も定期的の実施し、情報共有や合同の行事についての話し合い、運営に差が出ないように努めた。

(2) 児童在籍学校との連携

各学童保育所と学校の校長先生、副校長先生と年度初めに挨拶をし、学校のルールや校庭の使い方などの共有をした。担任の先生と児童の情報共有を行い、日々の保育の中で役立てるように努めた。また、支援学級に通っている児童については電話で先生と連絡を取り、情報共有した。分散保育や行事の際、空き教室や体育館をお借りし、より良い保育をすることができた。

（３）関連機関との連携

国分寺市子ども子育て支援課のエリア館長とは密に連絡を取り、いつでも安心して相談ができた。

子ども家庭支援センターの方と気になる児童について情報共有を行った。また、親子ひろば事業でも連携している。

小金井警察の方に来ていただき、不審者想定避難訓練を行い指導していただいた。また、子どもたちからの素朴な疑問にも答えていただくなど、とても良い経験をさせていただいた。

放課後子どもプランのコーディネーターの方と定期的に会議を行い、共催の行事を企画し、実施することが出来た。

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専 任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修 終了年度	
1	佐倉 友貴			運営責任者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
4					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
5					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
6					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
8															
9															
10															

※1 統括責任者，運営責任者，防火管理者などを記入すること
※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること
※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には，改めて提出すること

【資料1】

令和6年度 職員名簿

名簿作成日

令和7年3月1日

施設名 第二東恋ヶ窪学童保育所

指定管理者名

労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専 任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修 終了年度	
1	小熊 統			運営責任者/防火管理者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3					常勤	放課後児童支援員		パート	時給	フルタイム	育成支援 障害児保育				
4					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
5					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
6					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専 任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修 終了年度	
7					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
8															
9															
10															

※1 統括責任者、運営責任者、防火管理者などを記入すること

※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること

※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には、改めて提出すること

施設名 第一日吉町学童保育所

指定管理者名 労働者協同組合ワーカーズ・センター事業団

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修終了年度	
1	笹原 寛成			運営責任者/防火管理者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
4					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
5					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
6					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
7					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
8					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
9					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
10															

※1 統括責任者，運営責任者，防火管理者などを記入すること
※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修了証の写しを添付すること
※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には，改めて提出すること

【資料1】

令和6年度 職員名簿

名簿作成日 令和7年3月1日

施設名 第二日吉町学童保育所

指定管理者名 労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修終了年度	
1	小林 麻耶			運営責任者/防火管理者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3					非常勤	補助員	○	正社員	月給	短時間	育成支援				
4					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
5					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
6					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
7					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
8					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
9					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
10															

※1 統括責任者、運営責任者、防火管理者などを記入すること

※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること

※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には、改めて提出すること

【資料1】

令和6年度 職員名簿

名簿作成日 令和7年3月1日

施設名 第三日吉町学童保育所

指定管理者名 労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専 任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修 終了年度	
1	佐久間 まゆみ			運営責任者/防火管理者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
4					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
5					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	フルタイム	育成支援 障害児保育				
6					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
7					非常勤	補助員	○	その他	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
8					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
9					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
10															

※1 統括責任者、運営責任者、防火管理者などを記入すること
※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること
※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には、改めて提出すること

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修 終了年度	
1	高橋 邦彰			運営責任者/防火管理者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
2					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
3				統括責任者	常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
4					常勤	放課後児童支援員		正社員	月給	フルタイム	育成支援				
5					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援				
6					非常勤	放課後児童支援員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				

No.	職員名	生年月日	住所	責任者※1	常勤/非常勤	職名	加配児専任職員	勤務形態			職務の内容	配属年月日	放課後児童支援員の資格要件※2		主な経歴
								雇用	給与	勤務時間			条例第10条第3項	認定資格研修 終了年度	
7					非常勤	補助員	○	パート	時給	短時間	育成支援 障害児保育				
8															
9															
10															

※1 統括責任者、運営責任者、防火管理者などを記入すること

※2 基礎資格を証する書類や放課後児童支援員認定資格研修修了証の写しを添付すること

※3 年度途中で職員体制等に変更等が生じた場合には、改めて提出すること

企画事業年間報告書(第一・第二東恋ヶ窪学童保育所)

指定業務である放課後児童健全育成事業に関する業務のなかで指定管理費により企画実施する事業(イベントその他)

学童保育年間事業報告

月	名 称	内 容
4月	新入生歓迎会 しいたけ植菌(自主事業)	歌や上級生が作ったプレゼントを渡し、新入所児をみんなで迎え入れた。 植菌をし、それについて学んだ。(食育)
5月		
6月	七夕飾り制作 保護者会	七夕に向けて、短冊や七夕飾りを作成し笹の葉に飾った。 7月に実施した。
7月	夏休み工作 大掃除 保護者会 ランチボックスの日	8月に実施した。 1学期の区切りとして学童保育所をみんなで綺麗にした。 子どもたちの日々の様子や行事の報告をし夏休みに向けての話をした。 地域のお米屋さんから唐揚げ弁当を提供した。
8月	手作り昼食 夏休み工作 手作りおやつ 縁日 ランチボックスの日 敬老の日 シアターデイ	職員がブルコギ肉野菜炒めを作り提供した。 ステンシルでエコバッグを制作した。 希望した3年生と一緒にパフェを作り、おやつで提供した。 子どもたちと夏祭りを開催した。 地域のお米屋さんから唐揚げ弁当を提供した。 ハガキにマーブリングをした。 実施したが行事計画書、報告書が未提出。
9月	敬老の日	8月に実施した。
10月	ハロウィン工作 ハロウィン しいたけ収穫	ハロウィンに向けた衣装や仮面を作った。 班でなぞなぞを楽しんだ。 しいたけが出来ず収穫出来なかったため1月の収穫になった。 (食育・自主事業)
11月	勤労感謝の日	いつもありがとうの気持ちで全員でマグネットを作った。
12月	クリスマス制作 クリスマス会 大掃除	毛糸でリース作りをした。 クリスマス会をみんなで楽しんだ。 2学期の区切りとして学童保育所を綺麗にした。
1月	伝承遊び 手作りおやつ しいたけ収穫(自主事業)	風作りや福笑い、コマなどの伝承遊びをみんなでした。 希望した3年生と一緒に豚汁を作っておやつで提供した。 みんなで栽培したしいたけを収穫した。(食育)
2月	節分 卒所制作 保護者会	節分に関する紙芝居を読み、みんなで鬼退治をした。 卒所児がカレンダー、在所児がオリジナルラックを制作した。 3月に実施した。
3月	ありがとうの会(卒所生を送る会) 大掃除 保護者会 手作りおやつ	卒所や進学のお祝い、一年間みんなで過ごせたことのお祝いをした。 3学期の区切りとして学童保育所を綺麗にした。 子どもたちの行事や日々の様子をお伝えし、来年度についての共有も行った。 しいたけを使ったスープを作っておやつで提供した。

誕生会(毎月):誕生児をみんなでお祝した。

避難訓練(隔月):災害時等に自分の身を守るように訓練した。

【資料2】

企画事業年間報告書(第一日吉町学童保育所)

指定業務である放課後児童健全育成事業に関する業務のなかで指定管理費により企画実施する事業(イベントその他)

学童保育年間事業報告

月	名 称	内 容
4月	新入生歓迎会 しいたけ植菌(自主事業)	新入生児をみんなで迎え入れ、新一年生による自己紹介、二・三年生からプレゼント渡しを行った。しいたけを植菌し、育て、食育について学んだ。
5月	子ども会議	子どもたち主体で学童保育所での過ごし方を考えてもらい、各自で責任を持ちながら過ごした。
6月	七夕飾り工作 買い物おやつ	七夕に向けて、短冊や飾りを作成した。お菓子を買い、買い物を体験をした。
7月	夏休み工作 保護者会	夏らしい飾りを作成した。日々の子どもの様子を共有し、保護者同士の交流の場とした。
8月	縁日 シアターデイ 手作りおやつ ウォーターフェス	子どもたちと夏祭りを開催し、夏の思い出を作る。映画を見て楽しみながら体を休めた。職員手作りのおやつを子どもたちに提供した。荒天中止
9月	敬老の日によせて 買い物おやつ	祖父母のことを考えながら、プレゼントを作る。お菓子を買い、買い物を体験をする。
10月	ハロウィン工作 ハロウィンお楽しみ会	ハロウィンに向けた衣装作りを行った。ハロウィンにちなんだゲームを通して第二・第三日吉町学童保育所と交流した。
11月	勤労感謝の日によせて ダンスイベント	毎日一緒に生活している家族のためにプレゼントを制作した。第二・第三日吉町学童保育所の講師のもと、ダンスを楽しんだ。
12月	クリスマス工作 クリスマス会 大掃除 ダンスイベント	クリスマスに囲んだ制作をした。第二・第三日吉町学童保育所とゲームやプレゼントを通して交流し楽しんだ。一年間使用した部屋を綺麗にした。第二・第三日吉町学童保育所の講師のもと、ダンスを楽しんだ。
1月	伝承遊び ダンスイベント	伝承遊びを子どもたちに伝え親しんでもらい、上達する楽しさを味わってもらった。第二・第三日吉町学童保育所の講師のもと、ダンスを楽しんだ。
2月	節分 買い物おやつ ダンスイベント	節分とは何か伝え豆まきや細巻を食べた。お菓子を買い、買い物を体験した。第二・第三日吉町学童保育所の講師のもと、ダンスを楽しんだ。
3月	卒所生を送る会・卒所製作 所外保育 保護者会 ダンスイベント	進級と卒所を意識しながら思い出をつくった。武蔵国分寺公園でお弁当をみんなで食べ、学童保育所以外の外遊びを楽しんだ。日々の子どもの様子を共有し、保護者同士の交流の場とした。第二・第三日吉町学童保育所の講師のもと、ダンスを楽しんだ。

誕生会(毎月):誕生児をみんなでお祝した。

避難訓練(隔月):災害時等に自分の身を守るように訓練した。

企画事業年間報告書(第二・第三日吉町学童保育所)

指定業務である放課後児童健全育成事業に関する業務のなかで指定管理費により企画実施する事業(イベントその他)

学童保育年間事業報告

月	名 称	内 容
4月	新入生歓迎会	1年生は自己紹介カードを作成し、2、3年生の前で発表した。2、3年生からメッセージ付きのメダルをプレゼントされた。
5月	こども会議 だがしや	今の学童は楽しいか楽しくないかに○をつけるアンケート用紙を配付し、『みんなの学童を楽しくするために目標をたてよう』という議題で話し合った。だがしやは、80円分のモバイルカードを使い、好きなだがしを購入し食べた。
6月	七夕飾り制作 だがしや	お花紙を使い、七夕飾りを制作した。だがしやは、80円分のモバイルカードを使い、好きなだがしを購入し食べた。
7月	保護者会 夏休み工作 だがしや	7/6に開催。子どもたちの学童での様子をスライドショーで紹介し、夏休みの持ち物等の話をした。ペットボトルのキャップを使い帽子を作った。だがしやは、80円分のモバイルカードを使い、好きなだがしを購入し食べた。
8月	シアターデイ だがしや 縁日 ウォーターフェス	昼食後に第二育成室で実施。ゴザを敷きリラックスしてDVDを鑑賞。第三育成室は室内遊び。だがしやは、80円分のモバイルカードを使い、好きなだがしを購入し食べた。 縁日は3学童合同で体育館で実施。ウォーターフェスは台風の影響で中止。
9月	敬老の日工作 だがしや	画用紙でベンや眼鏡を入れられる小物入れを作った。メッセージカードも入れた。だがしやは、80円分のモバイルカードを使い、好きなだがしを購入し食べた。
10月	ハロウィンお楽しみ会 ダンスイベント だがしや	自分で作ったハロウィン衣装を着て、体育館で『目玉送り競争』を行った。第三育成室でAdoの『唄』に合わせ、ゾンビダンスを練習した。だがしやは、80円分のモバイルカードを使い、好きなだがしを購入し食べた。
11月	勤労感謝の日工作 だがしや ダンスイベント	千代紙を使い、鶴のストラップを制作。メッセージカードも付けた。だがしやは、80円分のモバイルカードを使い、好きなだがしを購入し食べた。 体育館で第一日吉町学童と合同で行い、Adoの『唄』に合わせ、ゾンビダンスを練習した。
12月	クリスマス制作 ダンスイベント クリスマス会 だがしや 大掃除	枝やどんぐりを使い、オーナメント制作。クリスマス会で披露する踊りを2曲練習した。3学童合同開催。職員による寸劇やゲームを楽しんだ。だがしやは、80円分のモバイルカードを使い、好きなだがしを購入し食べた。 学年ごとに分担を決めて掃除をした。
1月	伝承遊び ダンスイベント だがしや	おやつ後の15分間を練習時間にして、伝承遊びをした。こまとけん玉は検定があり、3月に表彰式を行った。 ダンスイベントは体育館で第一日吉町学童保育所の児童も一緒に練習。だがしやは、80円分のモバイルカードを使い、好きなだがしを購入し食べた。
2月	節分 ダンスイベント 卒所制作	第三育成室で実施。子どもたちが色塗りの鬼を壁や箱に貼り、そこに向かって落花生を投げた。おやつに細巻きを食べた。 3学童合同で体育館で実施。在籍児童へのプレゼントのカレンダー制作。卒所記念に革に名前やマークを印字したキーホルダーを制作。
3月	保護者会 卒所生を送る会 だがしや	3/8に開催。スライドショーで1年間の振り返りと春休みに向けての伝達事項を伝えた。 第二育成室で実施。子どもたちや職員による出し物を行い、お祝いカードのプレゼント。卒所生は第三育成室でビンゴ大会やリクエストおやつを食べた。だがしやは、80円分のモバイルカードを使い、好きなだがしを購入し食べた。

誕生会(毎月):誕生児をみんなでお祝いした。

避難訓練(隔月):災害時等に自分の身を守るように訓練した。

【資料2】

企画事業年間報告書(西恋ヶ窪学童保育所)

指定業務である放課後児童健全育成事業に関する業務のなかで指定管理費により企画実施する事業(イベントその他)

学童保育年間事業報告

月	名 称	内 容
4月	新入所歓迎会	新入所児をみんなで迎え入れた。
5月	しいたけ植菌(自主事業)	しいたけ栽培のために植菌をし、それについて学んだ。 (食育)
6月	七夕飾り制作	七夕に向けて、短冊や七夕飾りを作成をした。
7月	夏休み工作	夏に因んだ工作をした。
8月	縁日 シアターデイ	子どもたちと夏祭りを開催し、夏の思い出を作った。 映画を見て楽しみながら体を休めた。
9月	敬老の日	祖父母に対して手紙を書いた。
10月	ハロウィン しいたけ収穫(自主事業)	ハロウィンに向けた衣装づくりを行い、楽しんだ。 自分たちで栽培したしいたけを収穫した。(食育)
11月	勤労感謝の日	働いている人に対して感謝の気持ちを形にした。
12月	クリスマス制作 クリスマス会 大掃除	クリスマスに因んだ制作をした。 クリスマス会で出し物をして楽しんだ。 普段使っている物をみんなで掃除した。
1月	伝承遊び	伝承遊びを子どもたちに伝え親しんでもらい、上達する 楽しさを味わってもらった。
2月	節分 卒所制作	節分の意味を知る。 卒所児が作品を制作をした。
3月	3年生を送る会	3年生の卒所をみんなで祝った。

誕生会(毎月):誕生児をみんなでお祝いした。

避難訓練(隔月):災害時等に自分の身を自分で守れるように訓練した。

【資料3】

令和6年度自主事業実施状況一覧

No.	事業名称(※1)	事業計画の有無と時期	事業内容	実施施設	実施の有無と時期	参加人数	収入	支出	未実施の理由・今後の方針(※2)
1	農業体験 (しいたけ栽培)	有 令和6年4月30日	植菌・水やり・刺激・浸水・収穫の作業を通して育っていく様子を観察し、収穫したものを実際に食べることににより、食育を実体験とともに深めていく。	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所	有 令和6年4月30日	職員と有志の児童	0円	18,700円	
2	農業体験 (しいたけ栽培)	有 令和6年5月16日	植菌・水やり・刺激・浸水・収穫の作業を通して育っていく様子を観察し、収穫したものを実際に食べることににより、食育を実体験とともに深めていく。	第一日吉町学童保育所	有 令和6年5月20日	38人	0円	19,931円	
3	農業体験 (しいたけ栽培)	有 令和6年5月20日	植菌・水やり・刺激・浸水・収穫の作業を通して育っていく様子を観察し、収穫したものを実際に食べることににより、食育を実体験とともに深めていく。	第二・第三日吉町学童保育所	有 令和6年5月20日	職員と有志の児童	0円	0円 (第一日吉町学童保育所でまとめて購入したものを使用)	
4	農業体験 (しいたけ栽培)	有 令和6年5月21日	植菌・水やり・刺激・浸水・収穫の作業を通して育っていく様子を観察し、収穫したものを実際に食べることににより、食育を実体験とともに深めていく。	西恋ヶ窪学童保育所	有 令和6年5月21日	103人	0円	18,700円	
5	ふれあいカフェ	有 令和6年7月13日	学童保育所で食べているおやつを食べてもらい、遊びなどを通して保護者と職員・保護者同士の交流をしやすい場の提供を行う。	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所	有 令和6年7月13日	30人	0円	7,397円	2025年3月22日(土)に第二回を開催。
6	ふれあいカフェ	有 令和6年7月13日	学童保育所で食べているおやつを食べてもらい、遊びなどを通して保護者と職員・保護者同士の交流をしやすい場の提供を行う。	第一日吉町学童保育所	有 令和6年7月13日	17人	0円	2,638円	2025年3月8日(土)に第二回を開催。
7	地域の達人の技を体験しよう	有 令和6年7月22日	地域のあやとりの上手な方に来てもらい子どもたちに技を教えてもらった。	西恋ヶ窪学童保育所	有 令和6年7月22日	75人	0円	0円	
8	地域の達人の技を体験しよう	無	ダジャレに関するクイズやゲームを行い、子どもたちのボキャブラリーの幅を広げる。また、子どもの発想力を伸ばす。	第二・第三日吉町学童保育所	有 令和6年8月26日	79人	0円	10,000円	
9	廃材も無駄にしないで木工	有 令和6年11月11日	地域の方からいただいた廃材で事前に職員が工作の技を教えてもらい、子どもたちと一緒に木工を行う体験行事。	第一日吉町学童保育所	有 令和6年11月11日		0円	0円	
10	プログラミング ワークショップ	有 令和6年11月17日	kidsプログラミングラボさんとの共催でプログラミングを児童に体験していただく機会を提供する。	西恋ヶ窪学童保育所	有 令和6年11月17日	29人	0円	0円	
11	恋ヶ窪ブロック学童交流会～4学童まつり～	有 令和6年12月1日	中央地区にある4つの学童保育所の合同行事 学校体育館を使用した秋祭り	区分寺市立第五小学校体育館	有 令和6年12月1日	488人	0円	79,174円	
12	地域の達人の技を体験しよう	有 令和6年12月14日	ピアノとヴァイオリンのクラシックコンサートを演奏して頂き、親子で音楽を楽しむ。	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所	有 令和6年12月14日	77人	0円	3,240円	
13	地域の達人の技を体験しよう	有 令和6年12月10日	子どもたちに地域の達人の芸術やスポーツなどの技を生で体験してもらう。	第一日吉町学童保育所	有 令和7年1月22日	33人	0円	9,696円	
14	ふれあいカフェ	有 令和7年3月8日	学童保育所で食べているおやつを食べてもらい、遊びなどを通して保護者と職員・保護者同士の交流のしやすい場の提供を行う。	第二・第三日吉町学童保育所	有 令和7年3月8日	11人	0円	4,409円	
15	ふれあいカフェ	有 令和7年3月15日	学童保育所で食べているおやつを食べてもらい、遊びなどを通して保護者と職員・保護者同士の交流のしやすい場の提供を行う。	西恋ヶ窪学童保育所	有 令和7年3月15日	4人	0円	816円	

※1 年間事業計画書に記載している自主事業については、すべて実施状況を記載してください。

※2 実施の有無が「無」の場合のみご記入ください。

【資料4-1】

収支決算書
(令和6年度)
令和6年4月1日 から 令和7年3月31日

施設名	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一・第二・第三日吉町学童保育所、西恋ヶ窪学童保育所
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
指定管理期間	令和6年4月1日 から 令和11年3月31日

【指定管理業務に係る決算報告】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘要
指定管理料	122,321,376	122,321,376	100.0%	
利用料金収入	0	0	#DIV/0!	
事業収入(市指定)	0	0	#DIV/0!	
その他の収入	0	3,086,552	#DIV/0!	放課後児童支援員等処遇改善補助金
実質損失		0		
収入合計	122,321,376	125,407,928	102.5%	予算達成率は、実質損失を控除

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘要
人件費				
給与・賃金	80,543,920	82,846,891	102.9%	
社会保険料	9,675,379	9,832,796	101.6%	
手当	1,879,800	2,111,204	112.3%	※
その他	595,910	538,976	90.4%	※健康診断・福利厚生
事務費				
消耗品費	1,346,000	2,055,692	152.7%	※
印刷製本費	251,000	257,158	102.5%	※
通信費	810,000	945,012	116.7%	※
使用料及び賃借料	1,234,800	1,359,986	110.1%	※
保険料	12,000	0	0.0%	
その他	1,072,006	673,681	62.8%	※募集費・会議研修集会
管理費				
光熱水費				
電気料金	1,258,600	1,618,088	128.6%	※
ガス料金	150,000	101,076	67.4%	※
上下水道料金	570,000	481,053	84.4%	※
清掃費	0	11,780	#DIV/0!	※
修繕費	60,000	2,970	5.0%	※
警備費	583,440	602,140	103.2%	※
設備保全費				
空調衛生設備保守	143,000	0	0.0%	
消防設備保守	70,400	70,400	100.0%	※
昇降機定期保守点検	396,000	396,000	100.0%	※
その他の保善費	142,560	131,670	92.4%	※子ども110番
事業費(市指定)				
副食費	5,707,000	5,690,654	99.7%	※
教材費	2,514,200	1,873,578	74.5%	※
細菌検査	199,500	127,524	63.9%	※
租税公課	0	600	#DIV/0!	
その他の支出				※
一般管理費(本社経費)	13,105,861	12,382,442	94.5%	
実質収益		1,296,557		
支出合計	122,321,376	125,407,928	101.5%	予算達成率は、実質収益を控除

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。
消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。
指定管理業務に係る収支と自主事業に係る収支は分けて記載すること。
一般管理費(本社経費)、租税公課は別に算定根拠を示すこと。
年度途中で予算の補正があった場合は注記すること。

【自主事業に係る決算報告】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘 要
自主事業に係る収入			#DIV/0!	
	0	0	#DIV/0!	恋ヶ窪グループ学童交流会
	0	0	#DIV/0!	農業体験(しいたけ栽培)
	0	0	#DIV/0!	ふれあいカフェ
	0	0	#DIV/0!	プログラミングワークショップ
	0	0	#DIV/0!	廃材も無駄にしないで木工
	0	0	#DIV/0!	地域の達人の技を体験しよう
実質損失		0		
収入合計	0	0	#DIV/0!	予算達成率は、実質損失を控除

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘 要
自主事業に係る支出			#DIV/0!	
	80,000	79,174	99.0%	恋ヶ窪グループ学童交流会
	56,100	57,331	102.2%	農業体験(しいたけ栽培)
	30,000	15,260	50.9%	ふれあいカフェ
	25,000	0	0.0%	プログラミングワークショップ
	5,000	0	0.0%	廃材も無駄にしないで木工
	30,000	22,936	76.5%	地域の達人の技を体験しよう
実質収益		0		
支出合計	226,100	174,701	77.3%	予算達成率は、実質収益を控除

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。

消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。

指定管理業務に係る収支と自主事業に係る収支は分けて記載すること。

※収支計算に対する総括・自己評価

消耗品費については、第二第三日吉町学童保育所において、引き継ぎ時に不足するものを補ったこと、パソコンの購入が主な原因で、他学童においても経年劣化によりPCの入替が発生したことなどで、大きく予算超過となりました。電気料金については、第二第三日吉町学童保育所の空調機が電気式であることを想定しておらず、予算に見込まれていなかったことに加え、猛暑の影響と児童数が多く、室内が飽和状況であったことから、温度設定を下げて使用しなければならなかったこと、また、長時間の使用により、想定を超える結果となりました。空調衛生設備保守については、フィルター清掃の外注を予定したものでしたが、状態が良好であったことから未実施となりました。総体的には、物価高騰の影響はあったものの、前述の特別な理由以外においては、概ね、健全な運営状況であったと思います。

【指定期間中の状況】

指定管理期間	令和6年4月1日 から 令和11年3月31日
指定管理費 収入総合計額(円)	125,407,928
指定管理費 支出総合計額(円)	124,111,371

指定管理費 総額の上限額(円)	703,071,489
-----------------	-------------

指定期間中の 決算の状況	収入	支出	収支
令和6年度	125,407,928	124,111,371	1,296,557
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
計	125,407,928	124,111,371	1,296,557

指定期間中の 自主事業の収支状況	収入	支出	収支
令和6年度	0	174,701	-174,701
令和7年度			
令和8年度			
令和9年度			
令和10年度			
計	0	174,701	-174,701

【一般管理費（本社経費），租税公課の算定根拠】

令和6年度 第一・第二東恋ヶ窪学童保育所/第一日吉町学童保育所/第二・第三日吉町学童保育所/西恋ヶ窪学童保育所

当該施設経費額	111,759,909
法人他施設経費額	15,547,965,594
法人総経費額	15,659,725,503

当該施設の経費率	0.71%
----------	-------

法人運営維持費	1,744,005,849
---------	---------------

当該施設の法人運営維持費負担額	12,382,442
-----------------	------------

※法人経費科目内訳及び法人運営維持費科目内訳は別紙添付

※本社経費，租税公課の科目内訳も記載すること。

【記入例】

当該施設経費	20,000,000円
他施設1経費	18,000,000円
他施設2経費	24,000,000円
他施設3経費	24,000,000円
他施設4経費	14,000,000円
本社経費	5,000,000円
総額	105,000,000円

(内訳) 人件費，採用費，研修費，租税公課，減価償却費，広告費を計上。

(算定)

- ・按分率：当該施設経費20,000,000円 / (総額105,000,000円 - 本社経費5,000,000円) = 0.2
- ・当該施設の本社経費：5,000,000円 × 0.2 = 1,000,000円

決 算 報 告 書

(第3期)

自：2024年4月1日

至：2025年3月31日

労働者協同組合 ワークスコープ・センター事業団

東京都豊島区東池袋1-44-3

池袋ISPタマビル

貸 借 対 照 表

2025年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 6,600,636,809 】	【流動負債】	【 3,492,936,815 】
現金及び預金	3,661,527,682	買掛金	110,290,300
売掛金	2,518,788,123	未払金	1,973,529,046
商品	59,433,570	未払法人税等	58,514,440
原材料	967,532	未払消費税等	385,100
貯蔵品	460,712	未払持分	161,250,000
短期貸付金	6,557,592	未払費用	867,644,039
立替金	135,697,247	前受金	43,503,100
仮払金	116,850,906	預り金	104,107,977
前払費用	24,061,943	給与天引預り金	173,712,813
前払交通費	9,557,384	【固定負債】	【 100,228,762 】
預け金	2,264,826	長期預り金	35,494,486
未収金	79,242,753	仕事おこし預り金	6,540,276
未収収益	336,539	協力債	58,194,000
貸倒引当金	△ 15,110,000		
【固定資産】	【 1,003,850,006 】		
(有形固定資産)	(725,967,721)		
建物	199,555,443		
建物減累額	△ 43,927,450		
建物付属設備	592,425,670		
建物付属設備減累額	△ 274,373,844		
構築物	26,979,260		
構築物減累額	△ 5,471,213	負債の部合計	3,593,165,577
車両運搬具	133,170,722	純資産の部	
車両運搬具減累額	△ 122,367,175		
機械装置	38,245,836	【組合資本】	【 4,011,321,238 】
機械装置減累額	△ 24,528,230	出資金	(2,192,976,089)
工具器具備品	106,890,536	出資金	2,085,900,000
工具器具備品減累額	△ 76,751,560	出資預り金	107,076,089
一括償却資産	24,386,654		
建設仮勘定	15,345,000	利益剰余金	(1,818,345,149)
土地	136,388,072	利益準備金	2,600,000
(無形固定資産)	(44,068,034)	就労創出等積立金	1,300,000
ソフトウェア	41,555,473	教育繰越金	1,300,000
電話加入権	207,240	(その他利益剰余金)	(1,813,145,149)
水道施設利用権	1,060,103	繰越利益剰余金	1,813,145,149
借地権	475,000	(うち当期純利益)	(56,198,582)
営業権	770,218		
(外部出資その他の資産)	(233,814,251)		
契約保証金	38,545,274		
外部出資金	4,149,200		
敷金	170,469,011		
長期前払費用	20,650,766	純資産の部	4,011,321,238
資産の部合計	7,604,486,815	負債及び純資産の部合計	7,604,486,815

損 益 計 算 書

科目	金額	うち収益事業		うち非収益事業	
	円	円	円	円	円
【事業活動総収入】	【 17,576,903,756 】	【 9,987,336,957 】	【 7,589,566,799 】		
事業収入	4,747,004,129	4,075,698,642	671,305,487		
事業収入非課税	11,253,384,028	5,106,849,913	6,146,534,115		
事業費補助金収入	910,984,167	488,975,878	422,008,289		
処遇改善収入	562,491,114	212,832,256	349,658,858		
授産活動収入	103,077,443	103,017,393	60,050		
福祉拠点収入	9,822	9,822	0		
売上手数料値引	△ 46,947	△ 46,947	0		
【事業活動総費用】	【 15,659,725,503 】	【 8,727,643,502 】	【 6,932,082,001 】		
期首商品棚卸高	12,031,938	12,031,938	0		
商品仕入高	136,644,415	136,621,426	22,989		
期末商品棚卸高	59,433,570	59,433,570	0		
仕入高	(89,242,783)	(89,219,794)	(22,989)		
材料費	164,921,265	123,095,282	41,825,983		
人件費	11,948,486,088	6,629,350,902	5,319,135,186		
外注費	580,821,262	373,461,416	207,359,846		
経費	2,876,254,105	1,512,516,108	1,363,737,997		
事業活動総利益	(1,917,178,253)	(1,259,693,455)	(657,484,798)		
【一般管理費】	【 1,744,005,849 】	【 994,083,335 】	【 749,922,514 】		
法人運営管理人件費	984,367,040	561,089,214	423,277,826		
法人運営管理事務費	759,638,809	432,994,121	326,644,688		
事業利益	(173,172,404)	(265,610,120)	(△ 92,437,716)		
【事業外収益】	【 40,166,678 】	【 38,661,519 】	【 1,505,159 】		
受取利息	2,327,499	1,552,607	774,892		
受取配当金	1,555	1,555	0		
雑収入	31,633,384	31,022,517	610,867		
寄付金収入	6,204,240	6,084,840	119,400		
【事業外費用】	【 30,427,799 】	【 30,277,187 】	【 150,612 】		
寄付金	394,105	329,887	64,218		
雑損失	14,923,694	14,837,300	86,394		
貸倒引当金繰入	15,110,000	15,110,000	0		
経常利益	(182,911,283)	(273,994,452)	(△ 91,083,169)		
【特別利益】	【 59,169,225 】	【 51,604,083 】	【 7,565,142 】		
補助金収入	57,121,208	50,155,080	6,966,128		
固定資産売却益	1,287,611	1,158,068	129,543		
保険金収入	760,406	290,935	469,471		
【特別損失】	【 176,351,510 】	【 137,060,435 】	【 39,291,075 】		
固定資産処分損	6,375,591	5,251,937	1,123,654		
固定資産圧縮損	55,616,126	48,695,998	6,920,128		
災害損失	66,057	2,420	63,637		
契約損失	114,293,736	83,110,080	31,183,656		
税引前当期純利益	(65,728,998)	(188,538,100)	(△ 122,809,102)		
法人税、住民税及び事業税	9,530,416	9,412,342	118,074		
当期純利益	(56,198,582)	(179,125,758)	(△ 122,927,176)		

法人運営維持費

 自 2024年4月1日
 至 2025年3月31日

科目	金額	うち収益事業		うち非収益事業	
	円	円	円	円	円
【法人運営管理人件費】	【 984,367,040 】	【 561,089,214 】	【 423,277,826 】		
役員報酬	147,142,914	83,871,461	63,271,453		
給与諸手当	565,222,226	322,176,669	243,045,557		
雑給	391,000	222,870	168,130		
一時金	94,634,300	53,941,551	40,692,749		
法定福利費	121,365,072	69,178,091	52,186,981		
福利厚生費	33,042,394	18,834,165	14,208,229		
通勤費	22,569,134	12,864,407	9,704,727		
【法人運営管理事務費】	【 759,638,809 】	【 432,994,121 】	【 326,644,688 】		
外注費	22,490,195	12,819,411	9,670,784		
廃棄物処理費	333,183	189,914	143,269		
謝礼金	2,681,275	1,528,327	1,152,948		
研修実習費	34,734	19,799	14,935		
システム使用料	106,916,915	60,942,641	45,974,274		
地代家賃	199,799,834	113,885,905	85,913,929		
車両費	2,933,580	1,672,141	1,261,439		
リース料	7,808,958	4,451,107	3,357,851		
修繕費	2,040,431	1,163,045	877,386		
保守管理費	40,224,323	22,927,864	17,296,459		
レンタル料	1,278,665	728,839	549,826		
水道光熱費	11,460,055	6,532,231	4,927,824		
器具備品費	3,369,127	1,920,403	1,448,724		
減価償却費	11,472,360	6,539,245	4,933,115		
慶弔費	162,469	92,607	69,862		
印刷費	6,613,035	3,769,430	2,843,605		
事務消耗品費	5,507,962	3,139,538	2,368,424		
通信費	12,173,744	6,939,034	5,234,710		
諸手数料	4,118,382	2,347,478	1,770,904		
支払保険料	3,224,939	1,838,216	1,386,723		
租税公課	113,598,348	64,751,058	48,847,290		
諸会費	5,761,217	3,283,893	2,477,324		
採用費	6,983,454	3,980,569	3,002,885		
渉外費	1,231,983	702,231	529,752		
広報宣伝費	1,896,850	1,081,205	815,645		
新聞図書費	2,637,244	1,503,229	1,134,015		
会議費	12,982,549	7,400,053	5,582,496		
集会費	3,436,094	1,958,573	1,477,521		
教育研修費	5,333,767	3,040,247	2,293,520		
管理諸費	3,971,500	2,263,755	1,707,745		
旅費交通費	42,028,016	23,955,970	18,072,046		
総会費	2,151,724	1,226,483	925,241		
ソフトウェア償却費	9,147,727	5,214,204	3,933,523		
事業開発推進費	19,920,323	11,354,584	8,565,739		
赴任費	6,493,847	3,701,492	2,792,355		
雑費	20,000	11,400	8,600		

自 2024年4月1日
至 2025年3月31日

法人運営維持費

科目	金額	うち収益事業	
		うち収益事業	うち非収益事業
連合会費	77,400,000 円	44,118,000 円	33,282,000 円
一般管理費	(1,744,005,849)	(994,083,335)	(749,922,514)

事業原価報告書

自 2024年4月1日
至 2025年3月31日

科目	金額	うち収益事業	
		うち収益事業	うち非収益事業
	円	円	円
期首原材料棚卸高	836,128	674,267	161,861
材料費	165,052,669	123,149,901	41,902,768
期末原材料棚卸高	967,532	728,886	238,646
材料費	(164,921,265)	(123,095,282)	(41,825,983)
期首商品棚卸高	12,031,938	12,031,938	0
商品仕入高	136,644,415	136,621,426	22,989
期末商品棚卸高	59,433,570	59,433,570	0
仕入高	(89,242,783)	(89,219,794)	(22,989)
仕入・材料費合計	(254,164,048)	(212,315,076)	(41,848,972)
給与諸手当	9,459,783,998	5,368,602,221	4,091,181,777
雑給	9,862,315	8,563,120	1,299,195
一時金	839,665,319	423,667,907	415,997,412
利用者賃金	0	0	0
法定福利費	1,321,538,603	738,911,387	582,627,216
福利厚生費	25,733,522	14,020,469	11,713,053
通勤費	291,902,331	174,122,436	117,779,895
共通人件費	0	△ 98,536,638	98,536,638
人件費合計	(11,948,486,088)	(6,629,350,902)	(5,319,135,186)
外注費	320,405,804	193,528,502	126,877,302
利用者工賃	65,566,352	65,553,981	12,371
人材派遣料	75,072,577	42,692,918	32,379,659
廃棄物処理費	13,496,826	6,896,476	6,600,350
謝礼金	94,462,705	58,625,830	35,836,875
研修実習費	1,694,658	1,688,204	6,454
システム使用料	10,122,340	4,475,505	5,646,835
外注費合計	(580,821,262)	(373,461,416)	(207,359,846)
燃料費	6,124,025	2,289,369	3,834,656
衛生管理費	18,247,972	8,055,576	10,192,396
賠償費	462,707	279,453	183,254
副食費	119,951,369	70,864,538	49,086,831
会場費	6,042,674	5,591,562	451,112
教材費	41,410,243	22,843,289	18,566,954
行事費	62,773,276	35,033,704	27,739,572
地代家賃	550,481,862	333,290,843	217,191,019
車両費	83,371,587	49,380,757	33,990,830
リース料	186,249,508	106,751,182	79,498,326
修繕費	78,638,352	14,360,872	64,277,480
保守管理費	125,420,436	32,142,714	93,277,722
レンタル料	68,346,688	55,732,677	12,614,011
水道光熱費	492,930,813	190,058,858	302,871,955
器具備品費	32,679,314	18,237,308	14,442,006
減価償却費	92,950,207	60,087,601	32,862,606
慶弔費	381,240	248,434	132,806
印刷費	51,712,896	33,609,907	18,102,989
事務消耗品費	178,281,574	103,241,247	75,040,327
通信費	134,925,304	87,874,437	47,050,867

事業原価報告書

 自 2024年4月1日
 至 2025年3月31日

科目	金額	うち収益事業	
		うち収益事業	うち非収益事業
	円	円	円
諸手数料	35,860,772	19,490,616	16,370,156
支払保険料	77,726,798	48,190,355	29,536,443
租税公課	258,175,146	250,668,567	7,506,579
諸会費	4,754,364	3,107,665	1,646,699
採用費	72,010,190	48,270,098	23,740,092
渉外費	1,700,275	642,621	1,057,654
広報宣伝費	19,396,980	18,323,736	1,073,244
新聞図書費	9,924,766	4,349,895	5,574,871
会議費	3,042,780	1,951,664	1,091,116
集会費	222,008	201,475	20,533
教育研修費	13,071,928	7,565,629	5,506,299
旅費交通費	48,273,285	38,912,056	9,361,229
ソフトウェア償却費	629,800	462,866	166,934
雑費	82,966	70,889	12,077
共通経費	0	△ 159,666,352	159,666,352
経費合計	(2,876,254,105)	(1,512,516,108)	(1,363,737,997)
【事業活動総費用】	15,659,725,503	8,727,643,502	6,932,082,001

附属明細書

1.有形固定資産および無形固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額	減価償却累計額		期末取得原価
							当期償却額	
有形固定資産	建物	157,161,429	126,085,792	83,691,778	199,555,443	43,927,450	9,729,687	155,627,993
	建物付属設備	579,277,567	31,469,015	18,320,912	592,425,670	274,373,844	30,841,621	318,051,826
	構築物	20,994,326	7,890,897	1,905,963	26,979,260	5,471,213	1,482,417	21,508,047
	車両運搬具	137,980,774	15,868,081	20,678,133	133,170,722	122,367,175	5,005,138	10,803,547
	機械装置	36,995,426	1,250,410	0	38,245,836	24,528,230	3,399,781	13,717,606
	工具器具備品	97,652,538	17,654,284	8,416,286	106,890,536	76,751,560	13,484,342	30,138,976
	一括償却資産	22,544,557	25,512,596	8,005,008	40,052,145		15,665,491	24,386,654
	建設仮	19,601,200	0	4,256,200	15,345,000			15,345,000
	土地	136,388,072			136,388,072			136,388,072
	計	1,208,595,889	225,731,075	145,274,280	1,289,052,684	547,419,472	79,608,477	725,967,721
無形固定資産	ソフトウェア	27,913,000	23,420,000		51,333,000		9,777,527	41,555,473
	電話加入権	207,240			207,240			207,240
	水道施設利用権	1,163,712	68,238		1,231,950		171,847	1,060,103
	計	29,283,952	23,488,238	0	52,772,190	0	9,949,374	42,822,816

附属明細書

2.引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
(流動資産)				
貸倒引当金	0	15,110,000	0	15,110,000
(固定資産)				
貸倒引当金	0	0	0	0
計	0	15,110,000	0	15,110,000

附属明細書

3.販売費および一般管理費の明細

自：令和6年4月1日

至：令和7年3月31日

(単位：円)

科目	金額	
【法人運営管理人件費】		
役員報酬	147,142,914	
給与諸手当	565,222,226	
雑給	391,000	
一時金	94,634,300	
法定福利費	121,365,072	
福利厚生費	33,042,394	
通勤費	22,569,134	984,367,040
【法人運営管理事務費】		
外注費	22,490,195	
廃棄物処理費	333,183	
謝礼金	2,681,275	
研修実習費	34,734	
システム使用料	106,916,915	
地代家賃	199,799,834	
車両費	2,933,580	
リース料	7,808,958	
修繕費	2,040,431	
保守管理費	40,224,323	
レンタル料	1,278,665	
水道光熱費	11,460,055	
器具備品費	3,369,127	
減価償却費	11,472,360	
慶弔費	162,469	
印刷費	6,613,035	
事務消耗品費	5,507,962	
通信費	12,173,744	
諸手数料	4,118,382	
支払保険料	3,224,939	
租税公課	113,598,348	
諸会費	5,761,217	
採用費	6,983,454	
渉外費	1,231,983	

附属明細書

3.販売費および一般管理費の明細

自：令和6年4月1日

至：令和7年3月31日

(単位：円)

科目	金額	
広報宣伝費	1,896,850	
新聞図書費	2,637,244	
会議費	12,982,549	
集会費	3,436,094	
教育研修費	5,333,767	
管理諸費	3,971,500	
旅費交通費	42,028,016	
総会費	2,151,724	
ソフトウェア償却費	9,147,727	
事業開発推進費	19,920,323	
赴任費	6,493,847	
雑費	20,000	
連合会費	77,400,000	759,638,809
一般管理費		1,744,005,849

【資料5】

従事者育成に係る研修計画

1. 従事者育成に係る基本方針

職員のスキル向上を通じて、利用者へのサービス向上を図る。また、市・都・法人等が主催・案内する研修を、職員に受講させるとともに、各研修で学んだ事を現場の全職員で共有する。障がい児等の配慮を要する児童の対応についてや、エビデン等の扱い方についての研修に参加し、知識や技術、また対応力の向上に努める。

2. 年間研修受講予定一覧

分野	研修名	概要	主催者	毎月			6月6日		
				開催回数	参加人数	研修内容	開催回数	参加人数	研修内容
学童保育所業務に関するもの	子育てミーティング	子育て分野における話し合いの場	指定管理事業者(本部研修)	毎月	1名	第一第二東区学童保育所責任者1名	6月6日	1名	第一第二東区学童保育所 1名
共通—接遇	基礎研修	接遇研修他	指定管理事業者(本部研修)	年2回	未定	各学童保育所新入担当者	6月26日 7月5日 1月23日	1名 1名 1名	西区学童保育所 1名 第二第三日吉町学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名
共通—その他	安全衛生推進者研修	安全衛生推進者研修について	指定管理事業者(本部研修)	不定期	各学童保育所1名計4名	第一第二東区学童保育所 第一第二第三日吉町学童保育所 西区学童保育所	5月28日 9月17日 2月19日	4名	第一日吉町学童保育所 1名 第二第三日吉町学童保育所 1名 西区学童保育所 1名 第一第二東区学童保育所 1名
共通—その他	障がい児の発達と放課後等デイサービス	障がい児の発達について	指定管理事業者(本部研修)	7月	各学童保育所1名計4名	第一第二東区学童保育所 第一第二第三日吉町学童保育所 西区学童保育所	9月12日	10名	第一第二東区学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 2名 第二第三日吉町学童保育所 1名 西区学童保育所 6名
共通—管理者研修	リーダーマネージメント研修	リーダー行動のスキルアップ 行事改善・振り返り面談の進め方	指定管理事業者(本部研修)	年4回	各学童保育所1名計4名	第一第二東区学童保育所 第一第二第三日吉町学童保育所 西区学童保育所	10月29日 12月10日	6名	第一第二東区学童保育所 2名 第一日吉町学童保育所 1名 第二第三日吉町学童保育所 1名 西区学童保育所 2名
学童保育所業務に関するもの	安全衛生推進者研修(アレルギー)	アレルギーについて	指定管理事業者(本部研修)	9月	各学童保育所1名計4名	第一第二東区学童保育所 第一第二第三日吉町学童保育所 西区学童保育所	10月28日 市で実施した ものに参加		
共通—その他	子育てフォーラム	子育て現場同士の情報共有	指定管理事業者(本部研修)	9月	各学童保育所1名計4名	第一第二東区学童保育所 第一第二第三日吉町学童保育所 西区学童保育所	9月14日	1名	第二第三日吉町学童保育所 1名
共通—その他	コンプライアンス研修	ハラスメントについて	指定管理事業者(本部研修)				4月16日	2名	第一日吉町学童保育所 1名 第二第三日吉町学童保育所 1名
共通—その他	コンプライアンス研修	性差のない働き方について	指定管理事業者(本部研修)				5月14日	2名	第一日吉町学童保育所 1名 第二第三日吉町学童保育所 1名
学童保育所業務に関するもの	入退室システム研修 (保護者連絡機能)	安心でんしよばとの操作方法について	市				5月16日 5月21日 5月24日	19名	第一第二東区学童保育所 6名 第一日吉町学童保育所 2名 第二第三日吉町学童保育所 4名 西区学童保育所 7名
共通—その他	リスクマネジメント研修	危機管理について	指定管理事業者(本部研修)				5月22日	2名	第一第二東区学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名
学童保育所業務に関するもの	全国学童保育指導員学校	職員間、利用者との情報共有	その他関係機関				6月23日	2名	第一日吉町学童保育所 1名 第二第三日吉町学童保育所 1名
共通—その他	コンプライアンス研修	問題への視点、判断軸について	指定管理事業者(本部研修)				7月9日	2名	第一日吉町学童保育所 1名 第二第三日吉町学童保育所 1名
その他業務に関するもの	子育てひろば職員研修	親子ひろばの質向上のため	その他関係機関				7月10日 9月17日 9月26日	1名	第一第二東区学童保育所 1名
共通—虐待防止	虐待防止についての研修	法律について、事例検討	指定管理事業者(本部研修)				7月16日	10名	第二第三日吉町学童保育所 10名
その他業務に関するもの	親子ひろば職員研修	親子ひろばの質向上のため	その他関係機関				9月18日	2名	第一第二東区学童保育所 1名 第二第三日吉町学童保育所 1名
共通—その他	障害児報告会	障害児保育での事例検討	市				9月24日	4名	第一第二東区学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 1名 西区学童保育所 2名
共通—管理者研修	リーダー合宿	リーダー同士の交流、遊び研修	指定管理事業者(本部研修)				10月13日 10月14日	3名	第一第二東区学童保育所 1名 西区学童保育所 2名
共通—その他	3・4・5年研修	コミュニケーションについて	指定管理事業者(本部研修)				10月25日	1名	第二第三日吉町学童保育所 1名
学童保育所業務に関するもの	アレルギー・エビデン研修	食物アレルギーについて	市				10月28日	7名	第一第二東区学童保育所 1名 第一日吉町学童保育所 2名 第二第三日吉町学童保育所 2名 西区学童保育所 2名
その他業務に関するもの	円卓会議	妊産婦・乳幼児と保護者の防災対策について	市				11月5日	1名	第一第二東区学童保育所 1名

共通—接遇

共通—個人情報保護

共通—虐待防止

共通—管理者研修

共通—その他

児童館業務に関するもの

学童保育所業務に関するもの

その他業務に関するもの

指定管理事業者(本部研修)

指定管理事業者(施設内研修)

市

東京都

その他関係機関